

和歌山県埋蔵文化財調査年報

—平成14年度—

2004.3

和歌山県教育委員会

例言

- 1 本書は、平成14年度に文化庁の補助事業として和歌山県教育委員会が実施した試掘・確認調査、本発掘調査、立会調査等の成果報告であるが、平成6年度に実施した岩橋千塚古墳群の調査の一部についても掲載した。
- 2 埋蔵文化財包蔵地の範囲変更については、平成15年9月30日までに変更があったものについて掲載した。
- 3 本書で使用した地図は、特に断りのない限り、遺跡位置図の縮尺が2万5千分の1、調査位置図の縮尺が2千5百分の1で、上方が北である。
- 4 座標値は、日本測地系 第VI座標系（旧測地系）に従う。
- 5 本文中で使用した土色は、農林水産省農林水産技術会議事務局監修・財団法人日本色彩研究所色票監修『新版標準土色帳』による。
- 6 本書の編集は、和歌山県教育庁生涯学習局文化遺産課調査班が行い、執筆は各担当者が行った。
- 7 本書で掲載した遺構実測図等の資料、割愛した土層図等の資料及び遺物は、文化遺産課で保管しており、閲覧可能である。

目次

	ページ
平成14年度 和歌山県内発掘調査関係統計資料	1
埋蔵文化財包蔵地の範囲変更	2
平成14年度県教育委員会の調査	3
一覧表	3
3 元遺跡	5
4 最上遺跡	5
5 上尾遺跡	5
6 粉河寺遺跡	6
7 八岡山城跡	7
8 萩原Ⅱ遺跡	7
9 笠田東遺跡	7
10 渋田遺跡	8
11 窪・萩原遺跡	8
13 平山城抜け穴	9
14 応其Ⅰ遺跡	9
15 慈尊院Ⅱ遺跡	10
16 金剛峯寺遺跡	10
17 柏原遺跡	11
18 石ヶ谷遺跡	14
19 中井原遺跡	15
20 岡の前遺跡	16
22 葛籠遺跡	15
23 小熊遺跡	16
24 手取城跡	17
25 井上Ⅰ遺跡	17
26 吉原御坊跡	18
27 吉原遺跡	18
28 谷口遺跡	19
29 高田土居城跡	19
30 徳蔵地区遺跡	20
31 徳蔵周辺遺跡	21
33 東吉田Ⅰ・Ⅱ遺跡	23
34 熊岡Ⅱ遺跡	24
35 大塚遺跡	26
36 江津良遺跡	26
37 川関遺跡	26
岩橋千塚古墳群の調査	27
1. 保存処理鉄器の再実測及び平成6年度調査の出土遺物	27
2. 平成6年度 岩橋千塚古墳群（大谷山地区）の調査	27

平成14年度 和歌山県内発掘調査関係統計資料
届出等件数

工事の届等	文化財保護法 57条の2	指示内容	発掘調査関係																	計		
			道路	河川	学校	住宅	個人住宅	工場	店舗	兼用住宅	その他 建物	宅地造成	公園造成	ガス等	農業関係	その他開 発	遺跡地図 作製等	学術	遺跡整備		その他	
工事の届等	57条の2	発掘調査				5	2		4		5	1				1	—	—	1		19	
		工事立会				11	115	1	3	3	13	8			21	4	2	—	—		1	182
		慎重工事				4	14		2		7	6			5		1	—	—		1	40
		その他				2	1		1		2	2				2		—	—			10
		計	0	0	0	22	132	2	9	3	27	17	0	26	6	4	0	0	0	1	2	251
	57条の3	発掘調査	3								1						—	—			4	
		工事立会	2		1						4	1	1	12		1	—	—		1	23	
		慎重工事	2		1	1					1			6	1		—	—			12	
		その他															—	—			0	
		計	7	0	2	1	0	0	0	0	6	1	1	18	1	1	—	—			38	
合計	7	0	2	23	132	2	9	3	33	18	1	44	7	5	0	0	0	1	2	289		
発掘届等	57条	試掘・確認調査																			0	
		本発掘調査	9	1			1				1									4	16	
		計	9	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	16	
	58条の2	試掘・確認調査	6	1		1	1														9	
		本発掘調査	2																		2	
		計	8	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
	合計	17	2	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	27		

国指定史跡名勝天然記念物の現状変更（権限委任分）

種別	名称	概要	許可・不許可の別	許可条件	文化財保護法施行令第5条該当条文/許可日	
1 史跡	高野山町石	階段手摺り改修	許可	慎重工事	ハ H14.4.2	
2 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.4.22	
3 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.4.22	
4 史跡	金剛峯寺境内	墓石交換	許可	慎重工事	ハ H14.5.30	
5 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.7.1	
6 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.7.1	
7 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.7.16	
8 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.7.16	
9 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.7.16	
10 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	慎重工事	ハ H14.8.1	
11 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	慎重工事	ハ H14.8.15	
12 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.8.29	
13 史跡	金剛峯寺境内	上水道送水管布設替	許可	高野町職員立会	ハ H14.9.3	
14 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.9.18	
15 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.9.18	
16 史跡	紀伊国分寺跡	仮設駐車場設置	許可	打田町職員立会	ハ H14.10.1	
17 史跡	金剛峯寺境内	墓地整備	許可	高野町職員立会	ハ H14.10.3	
18 史跡	金剛峯寺境内	藤棚改修	許可	高野町職員立会	ハ H14.10.3	
19 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.10.17	
20 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	慎重工事	ハ H14.10.17	
21 史跡	金剛峯寺境内	石垣設置	許可	高野町職員立会	ハ H14.10.22	
22 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H14.11.5	
23 史跡	金剛峯寺境内	石灯笼・石地蔵設置	許可	高野町職員立会	ハ H14.11.5	
24 史跡	高野山町石	記念碑建立	許可	慎重工事	ハ H14.11.29	
25 史跡	高野山町石	農業用水路補修	許可	慎重工事	ホ H14.12.2	
26 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H15.3.31	
27 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	慎重工事	ハ H15.3.31	
28 史跡	金剛峯寺境内	五輪塔建立	許可	慎重工事	ハ H15.3.27	
29 史跡	金剛峯寺境内	墓石建立	許可	高野町職員立会	ハ H15.3.31	
30 天然記念物	材ヶヶ 生息地	魚介類の生息実態調査	許可	周辺環境への配慮	ト H14.5.17	
和歌山市	1 史跡	和歌山城	仁和寺壇・扉改修	許可	慎重工事	ハ H14.6.19
	2 史跡	和歌山城	ポスター掲示板取替	許可	慎重工事	ハ H14.7.15
	3 史跡	和歌山城	童話園ペンギン飼育舎設置	許可	慎重工事	ハ H14.9.4
	4 史跡	和歌山城	公衆無線基地局撤去	許可	慎重工事	ハ H15.2.6
	5 史跡	和歌山城	公衆無線基地局設置	許可	工事期間規定	又 H15.2.10
	6 特別史跡	岩橋千塚古墳群	フェンス改修工事	許可	慎重工事	ニ H15.3.3
	7 史跡	和歌山城	バンドホル・地中電線路設置継続	許可	工事期間規定	又 H15.3.13

国指定史跡名勝天然記念物の現状変更（文化庁進達分）

種別	名称	概要	許可日	許可条件
1 史跡	金剛峯寺境内	作業用道路拡幅工事	H14.6.21	県教育委員会による発掘調査など
2 史跡	紀伊国分寺跡	保存修理事業	H14.6.21	打田町教育委員会立会など
3 史跡	和歌山城跡	御橋廊下復元	H14.6.21	和歌山市教育委員会立会など
4 史跡	和歌山城跡	手摺り設置	H14.10.18	和歌山市教育委員会立会など
5 史跡	和歌山城跡	舗装工事	H15.2.21	和歌山市教育委員会立会など
6 史跡	金剛峯寺境内	身体障害者用通路設置	H15.5.16	県教育委員会による発掘調査など
7 史跡	金剛峯寺境内	身体障害者用通路設置	H15.7.11	県教育委員会による発掘調査など

県指定史跡名勝天然記念物の現状変更

種別	名称	概要	許可日	許可条件
1 天然記念物	栗の院の大杉林	枯損による伐採	H14.4.8	慎重工事
2 天然記念物	正覚寺のムク	枝の伐採	H14.8.9	慎重工事
3 史跡	千里王子跡	長床の撤去	H15.2.4	慎重工事
4 史跡	千里王子跡	長床の新築	H15.3.17	慎重工事

出土文化財認定件数

認定件数	
和歌山市	22
計	31

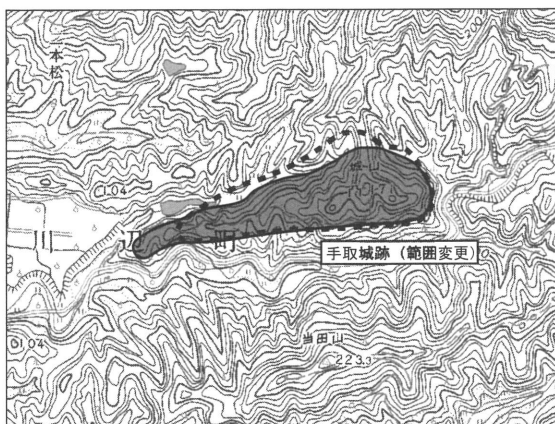
埋蔵文化財包蔵地新制定・範囲変更

遺跡名	所在地	変更日	変更内容	備考
手取城跡	川辺町大字東和佐	H15.5.30	範囲変更	現地調査結果
小豆島西遺跡	和歌山市小豆島	H15.3.26	新認定	発掘調査結果
遍照寺	岩出町大字北大池	H15.3.31	新認定	発掘調査結果
寺谷遺跡	由良町大字門前	H15.7.18	新認定	分布調査結果
岩橋高柳遺跡	和歌山市岩橋高柳	H15.6.30	新認定	発掘調査結果
仲田遺跡	白浜町大字堅田字仲田	H15.9.19	新認定	分布調査結果

埋蔵文化財包蔵地の範囲変更

平成13年度版年報作成後、平成15年9月30日までに範囲変更、新規登録を行った埋蔵文化財包蔵地について以下に掲載する。

破線は旧範囲を、実線は新範囲を示す。所在地などは1頁の表参照。



手取城跡



小豆島西遺跡



遍照寺遺跡



岩橋高柳遺跡



寺谷遺跡



仲田遺跡

平成14年度県教育委員会の調査

調査一覧

NO.	遺跡名	調査件名	市町村名	座標値(旧座標系)	調査年月日	調査原因	調査種類	調査面積	遺構/遺物	年代
1	磯の浦古墳群	01-327	和歌山市磯の浦	X=-192,689 Y=-82,673	2002.6.19	県道建設	分布調査	—	／なし	—
2	且来下垣内古墳	02-98	海南市且来	X=-203,277 Y=-70,600	2002.6.24	道路拡幅	分布調査	—	／なし	—
3	元遺跡①	02-82	桃山町元字東嶋	X=-195,370 Y=-59,084	2002.7.19	分譲住宅	工事立会	30m ²	なし/瓦器、土師器、弥生土器?	中世、弥生?
	元遺跡②	02-214	桃山町元字東嶋	X=-195,370 Y=-59,084	2003.3.11	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2m ²	なし/なし	—
4	最上遺跡	02-92	桃山町最上	X=-196,793 Y=-59,996	2002.10.8	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2.5m ²	なし/須恵器(盛土中)	—
5	上尾遺跡	02-225	桃山町調月 字山ノ上	X=-196,686 Y=-60,556	2003.3.14	個人住宅	工事立会	3m ²	なし/なし	—
6	名勝粉河寺庭園 粉河寺遺跡	現状変更 00-243	粉河町粉河	X=-190,940 Y=-54,435		防災施設	発掘調査/工事 立会	173m ²	礎石建物、暗渠/ 瓦、土師器	中世・近世
7	八岡山城跡	02-265	貴志川町岸宮 字八岡	X=-197,468 Y=-64,773	2003.3.18	個人住宅	工事立会	2m ²	土坑/なし	不明
8	萩原Ⅱ遺跡	02-24	かつらぎ町萩原 字井ノ尻	X=-190,006 Y=-48,779	2002.4.30	個人住宅	工事立会	7m ²	なし/なし	—
9	笠田東遺跡	02-85	かつらぎ町笠田 東	X=-189,559 Y=-47,848	2002.8.7, 10.16	倉庫	工事立会	1.2m ²	なし/なし	—
10	渋田遺跡①	01-318	かつらぎ町西渋 田	X=-191,455 Y=-48,772	2002.5.14	個人住宅(浄化槽)	工事立会	3.8m ²	流路、おちこみ、杭/ 須恵器、土師器、陶 器(すべて小片)	奈良? 中世 ~近世
	渋田遺跡②	02-2	かつらぎ町東渋 田	X=-191,189 Y=-47,940	2002.5.28	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2m ²	なし/なし	—
11	窪・萩原遺跡	02-241	かつらぎ町萩原 字前島	X=-190,404 Y=-49,122	2003.3.24	浄化センター	工事立会	断面観察	河川/なし	不明
12	かつらぎ・高野口 町内遺跡	98-145	かつらぎ町・ 高野口町	—	2003.3.28,31	京奈和自動車道 建設	分布調査	—	サヌカイト、土師器、 縄文土器、弥生土 器、須恵器	縄文~近世
13	平山城抜け穴	98-145	高野口町応其	X=-187,055 Y=-39,056	2002.4.20~ 22	京奈和自動車道 建設	発掘調査	約9m ²	水路、溝/なし	近世
14	応其Ⅰ遺跡	02-255	高野口町応其	X=-187,594 Y=-39,299	2003.3.5	集合住宅(浄化 槽、2ヶ所)	工事立会	9m ² (5m ² +4m ²)	土坑(ピット)4/なし	不明
15	慈尊院Ⅱ遺跡	01-271	九度山町慈尊院	X=-189,060 Y=-41,345	2002.4.16	個人住宅	工事立会	22.4m ²	ピット・埋桶?/なし	不明
16	金剛峯寺遺跡	02-198	高野町高野山 字南谷	X=-198,472 Y=-38,156	2002.12.6	歩道工事	工事立会	0.5m ²	なし/なし	—
17	柏原遺跡	98-145	橋本市柏原地内	X=-186,651 Y=-37,937	2003.2.24~ 3.13	京奈和自動車道 建設	確認調査	133.6m ²	中世ピット、弥生溝・ ピット/土師器、瓦 器、弥生土器、サヌカ イト	近世、中世、 古墳~飛 鳥、弥生
18	石ヶ谷遺跡	02-60	吉備町西丹生園	X=-215,163 Y=-71,158	2002.7.23,24	県道工事	試掘・確認調査	60m ²	土坑4/瓦器片少量	中世

調査一覧

NO.	遺跡名	調査件名	市町村名	座標値(旧座標系)	調査年月日	調査原因	調査種類	調査面積	遺構/遺物	年代
19	中井原遺跡	02-54	金屋町中野 字前田	X=-214,394 Y=-68,400	2002.6.12	個人住宅(浄化槽)	工事立会	4.5m ²	土堀/瓦、すり鉢	近世or近代
20	岡の前遺跡	99-161	金屋町長谷川	X=-216,019 Y=-66,789	2002.4.11	県道工事	試掘・確認調査	12m ²	なし/なし	—
21	歓喜寺跡	01-323	金屋町観喜寺	X=-216,374 Y=-67,809	2002.8.16	収蔵庫新築	工事立会	150m ²	なし/なし	—
22	葛籠遺跡	02-172	清水町久野原	X=-211,978 Y=-50,635	2002.10.25	個人住宅	工事立会	14m ²	土坑/なし	不明
23	小熊遺跡	02-38	川辺町小熊 字大阪	X=-231,805 Y=-74,962	2002.7.22	個人住宅(浄化槽)	工事立会	6.4m ²	なし/なし	—
24	手取城跡	—	川辺町和佐地内	X=-232,730 Y=-71,100	2003.3.26	—	現地確認	—	—	—
25	井上 I 遺跡	02-168	印南町西ノ地小 庵	X=-243,386 Y=-69,540	2003.1.9	個人住宅(浄化槽)	工事立会	3m ²	ピット2/縄文土器他 小片(摩耗大)	不明
26	吉原御坊跡	02-114	美浜町吉原	X=-234,015 Y=-78,943	2002.8.28	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2m ²	なし/土師器片1	—
27	吉原遺跡	58条の2	美浜町吉原字 大松原	X=-234,271 Y=-79,024	2003.3.10	集合住宅	試掘・確認調査	2.5m ²	土坑/なし	不明
28	谷口遺跡	02-260	南部川村谷口 上六斗田	X=-245,067 Y=-61,723	2003.2.27	個人住宅	工事立会	42m ²	なし/弥生土器1袋	弥生時代
29	高田土居城跡	00-99	南部町気佐藤	X=-246,577 Y=-62,266	2002.11.7	県道拡幅	工事立会	60m ²	堀跡/須恵器2、土師 器1、弥生土器1、粘 土塊4、サヌカイト1、 縄文土器片1、土錘1	—
30	徳蔵地区遺跡	00-101	南部川村徳蔵	X=-246,350 Y=-62,320	2002.4.18~ 19	国道改良	試掘・確認調査	48m ²	河川(9.10トレ)/土 器片少量(11トレ)	不明
31	徳蔵地区周辺遺 跡	01-323	南部町東吉田	X=-246,825 Y=-62,297	2002.11.6,7	河川改修	試掘・確認調査	22.6m ²	なし/弥生土器	弥生~古墳 時代
32	東吉田 I・II 周辺 遺跡	97-327	南部町東吉田	X=-246,844 Y=-61,403	2003.3.20	近畿自動車道建 設	分布調査	—	—/石器?1、陶器片 1	—
33	東吉田 I 遺跡	97-327	南部町東吉田	X=-246,752 Y=-61,788	2002.12.2~ 13	近畿自動車道建 設	試掘・確認調査	90m ²	なし/土師器、須恵 器	—
34	熊岡 II 遺跡①	02-20	南部川村熊岡	X=-246,450 Y=-61,143	2002.5.9	村道改良(拡幅) 工事	確認調査	23.5m ²	ピット2、溝?(河川)/ 土師器、陶器、白磁、 山茶碗、瓦器:12袋	中世(古代、 古墳)
	熊岡 II 遺跡②	00-338	南部川村熊岡	X=-246,422 Y=-61,157	2002.7.1~2	圃場整備(水路設 置)	工事立会	47m ²	おちこみ/山茶碗、 土師器:7小袋	中世、古墳 時代前期
35	大塚遺跡	01-197	南部町東吉田 字大塚	X=-247,016 Y=-62,231	2002.4.19	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2m ²	流路/土師器・須恵 器:1袋	弥生~古墳 時代,古代?
36	江津良遺跡	02-207	白浜町龍頭	X=-256,106 Y=-59,916	2003.2.7	個人住宅(浄化槽)	工事立会	2m ²	なし/なし	—
37	川関遺跡	02-202	那智勝浦町天満	X=-261,826 Y=-61,159	2003.1.8	個人住宅(浄化槽)	工事立会	3m ²	なし/少量	不明

3. 元遺跡

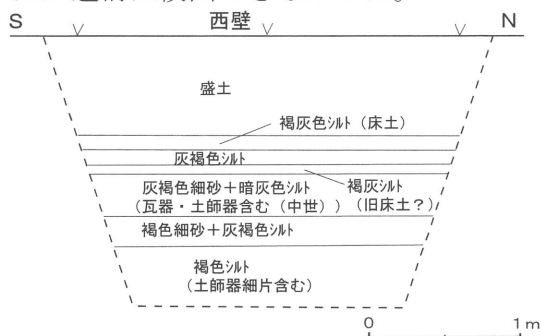
(調査件名 ①02-82、②02-214)

種別 立会調査

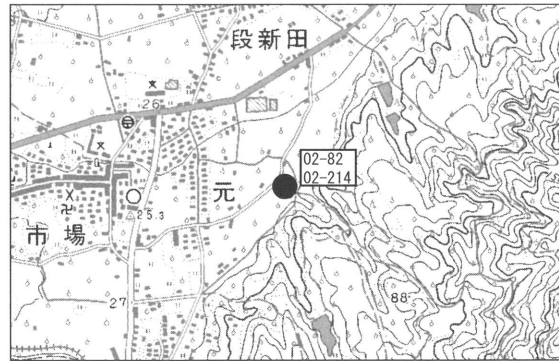
所在地 桃山町大字元字東嶋

<調査の経緯> 分譲住宅建設に伴う立会調査。今回の調査地点は元遺跡の北東端にあたる。擁壁部について計5ヶ所、後日浄化槽部についても調査を実施した。

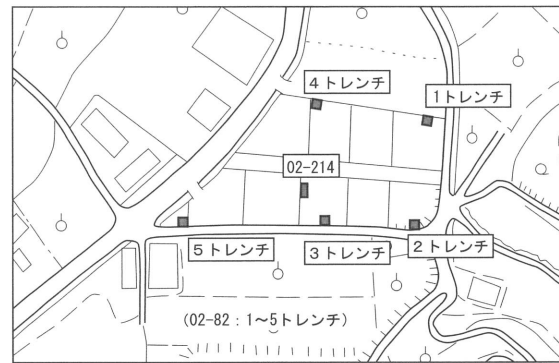
<調査成果> 東半部は、旧水田及び湿地を形成していたと思われるシルト層が堆積しており、遺構・遺物ともなし。西端部(5トレンチ)では、旧水田面の下に中世の遺物(瓦器、土師器細片)包含層が堆積していたが遺構は検出できなかった。



5トレンチ土層断面図 (S=1/50)



遺跡位置図



調査位置図

4. 最上遺跡

(調査件名 02-92)

種別 立会調査

所在地 桃山町最上

5. 上尾遺跡

(調査件名 02-225)

種別 立会調査

所在地 桃山町調月字山の上

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> 両調査地点とも、旧耕作土下が地山であり、遺構、遺物とも検出できなかった。



遺跡位置図



最上遺跡調査位置図



上尾遺跡調査位置図

6. 名勝粉河寺庭園／粉河寺遺跡

(調査件名 現状変更/00-243)

種別 本発掘調査/立会調査

所在地 粉河町粉河

＜調査の経緯＞ 今年度は、平成13年度に引き続き、防災施設工事に伴う発掘調査と立会調査をおこなった。発掘調査は、国指定名勝庭園部分で実施し、他の境内地内は27ヶ所のグリッドを設けて立会調査を実施した。

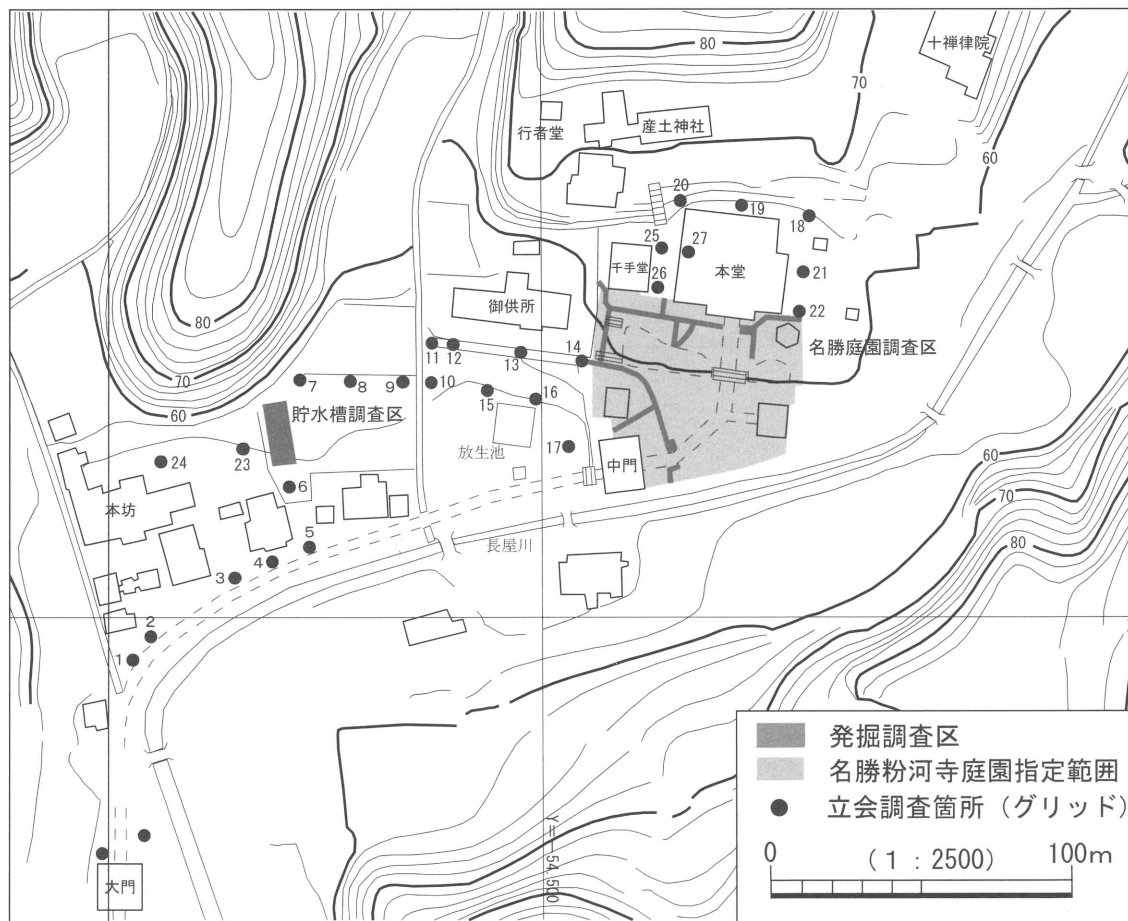
＜調査成果＞ 名勝庭園部分の調査では、本堂前(3-1～8トレンチ)で正徳3年(1713)の火災層と見られる焼土層とこの焼土層を切る複数の暗渠溝を検出した。また、焼土層の下層で礎石と石列の一部を検出した。千手堂と絵馬堂間の階段(2-1トレンチ)で焼土層より下層で門の可能性のある礎石列を確認した。名勝庭園と中門間(1-1～6トレンチ)で旧中門の可能性のある基壇を確認した。3-3トレンチと1-4トレンチでは古代の遺物を含む包含層を確認した。

立会調査では、ほとんどの箇所ですり削り範囲は近世の盛土内で、本堂裏の一部で地山を検出した。

詳しくは「粉河寺防災工事に係る発掘調査」平成14年9月『重要文化財 粉河寺大門 修理工事報告書』粉河寺(財団法人和歌山県文化財センター編)に掲載している。



遺跡位置図



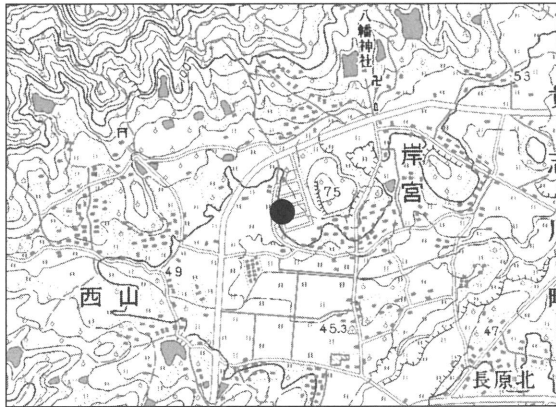
調査位置図

7. 八岡山城跡

(調査件名 02-265)

種別 立会調査

所在地 貴志川町岸宮字八岡



遺跡位置図



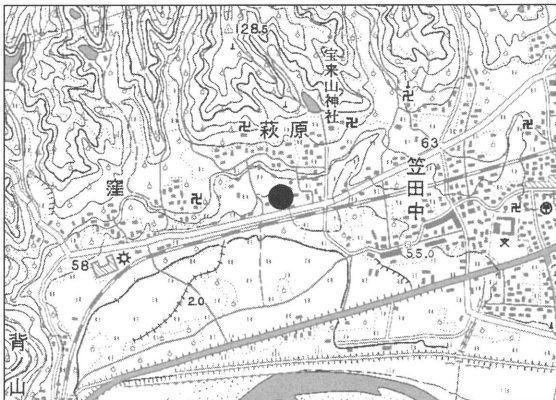
調査位置図

8. 萩原Ⅱ遺跡

(調査件名 02-24)

種別 立会調査

所在地 かつらぎ町萩原字井ノ尻



遺跡位置図



調査位置図

9. 笠田東遺跡

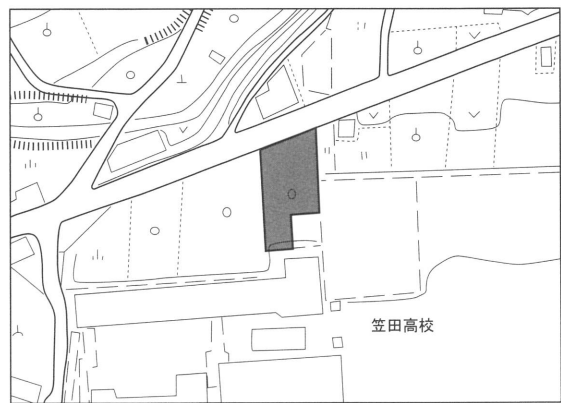
(調査件名 02-85)

種別 立会調査

所在地 かつらぎ町笠田東字松ノ前



遺跡位置図



調査位置図

10. 渋田遺跡

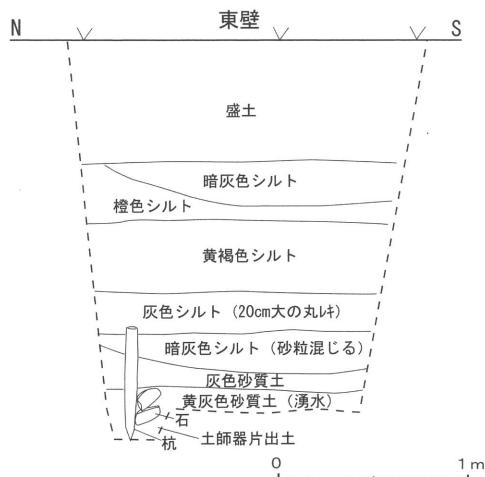
(調査件名 ①02-2、②01-318)

種別 立会調査

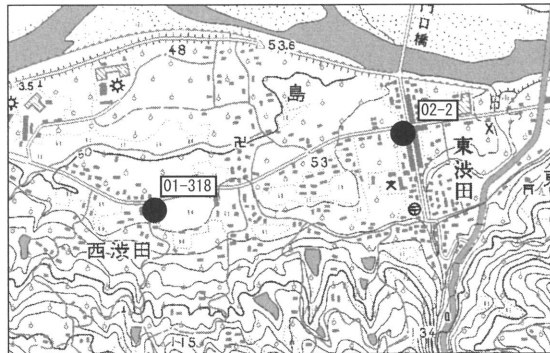
所在地 かつらぎ町①東渋田
②西渋田字ヲコダ

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査の成果> 02-2立会調査では、遺構・遺物とも検出できなかった。01-318立会調査地点は、地表下1.8mまで砂層(湧水層)、その上にシルト層が堆積する。この砂層には、杭が打ち込まれていた。杭は、長さ45cm太さ6cm程度のものを中心として計6本が60×160cmの範囲にランダムに分布していた。杭の先端付近の黄灰色砂質層から土師器小片が計20点ほど出土した。時期は細片のため不明である。



土層断面図 (01-318)



遺跡位置図



調査位置図 (02-2)



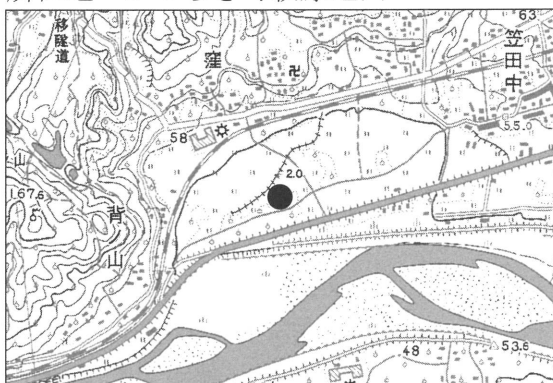
調査位置図 (01-318)

11. 窪・萩原遺跡

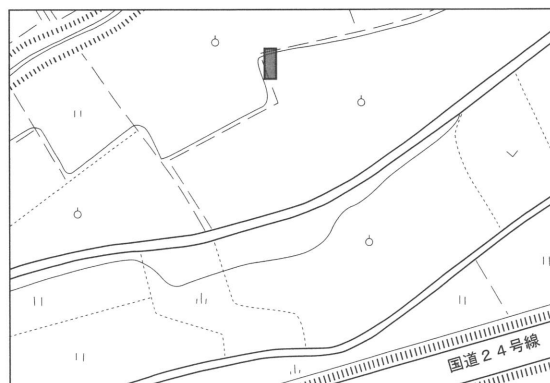
(調査件名 02-241)

種別 立会調査

所在地 かつらぎ町萩原地内



遺跡位置図



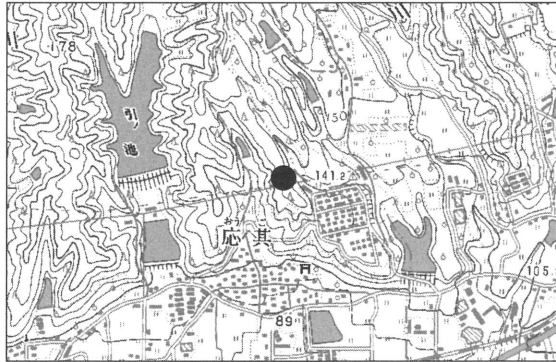
調査位置図

13. 平山城抜け穴

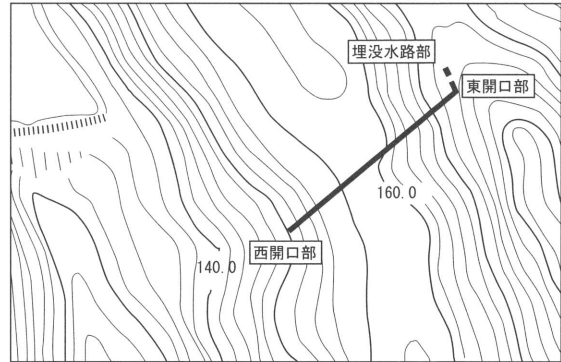
(調査件名 98-145)

種別 本発掘調査

所在地 高野口町応其



遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 京奈和自動車道建設に伴い「平山城の抜け穴」と称されている隧道の発掘調査を実施。

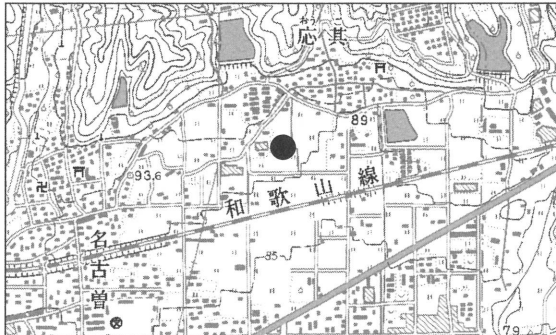
<調査成果> 発掘調査、類例調査から中世山城の「抜け穴」ではなく、水路遺構と結論付けることができた。詳細は武内雅人「発掘調査―「平山城の抜け穴」の発掘調査―」『高野枿をつくらせた荘園』（平成15年3月和歌山県教育委員会）に掲載。

14. 応其I遺跡

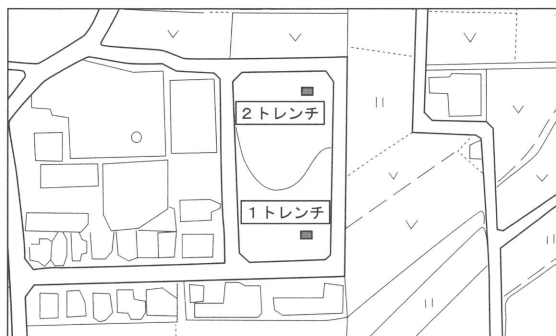
(調査件名 02-255)

種別 立会調査

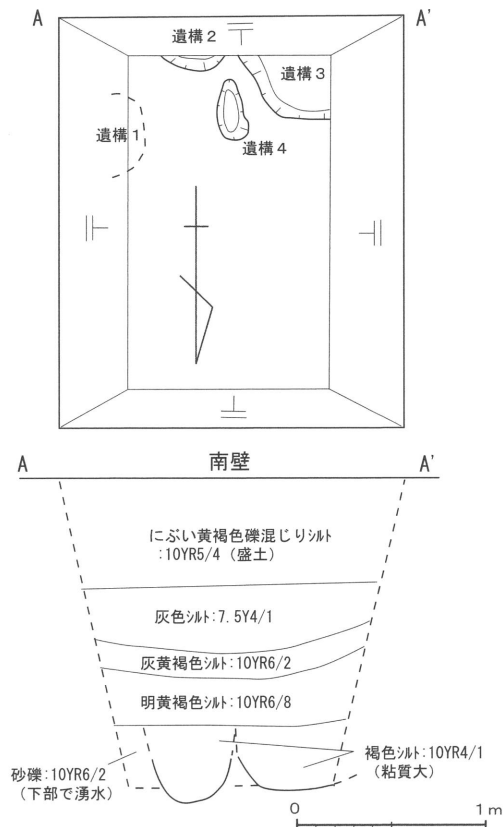
所在地 高野口町応其



遺跡位置図



調査位置図



2トレンチ平面図・断面図

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

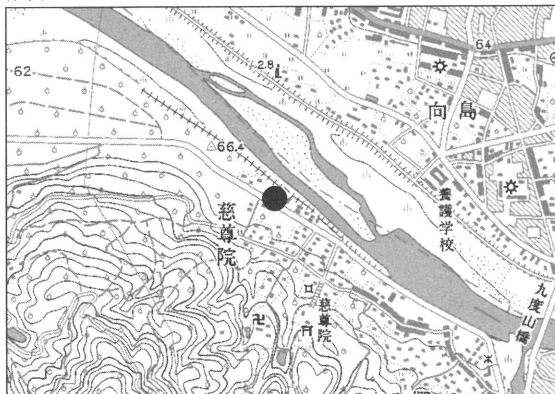
<調査の成果> 1トレンチは、遺構・遺物ともなし。2トレンチは、地表下1.3mまで砂礫層が堆積し、この上面で遺構を4基確認した。遺物の出土はなく時期は不明。

15. 慈尊院Ⅱ遺跡

(調査件名 01-271)

種別 立会調査

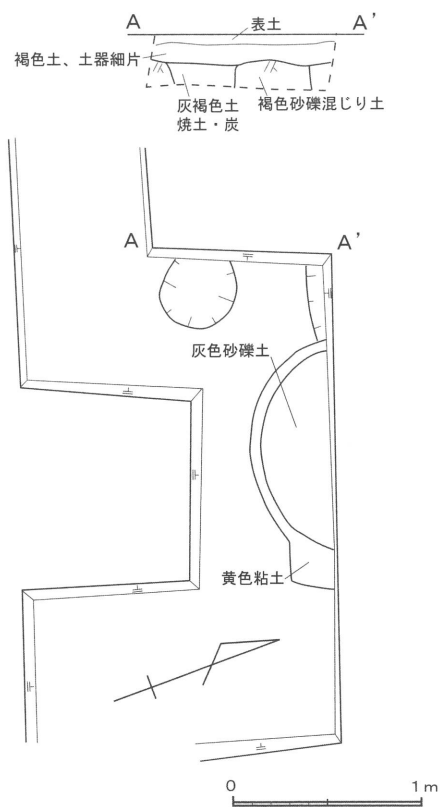
所在地 九度山町慈尊院93番地



遺跡位置図



調査位置図



遺構平面図・断面図

<調査の経緯> 個人住宅基礎部分の掘削工事に伴う立会調査。

<調査の成果> 建物の南辺中央付近において遺構を検出した。遺構面は地表下20cm 足らずで、ピット2基と埋桶1基を検出した。遺物の出土はなく時期は不明。

16. 金剛峯寺遺跡

(調査件名 02-198)

種別 立会調査

所在地 高野町字南谷



遺跡位置図



調査位置図

17. 柏原遺跡

(調査件名 98-145)

種別 試掘・確認調査

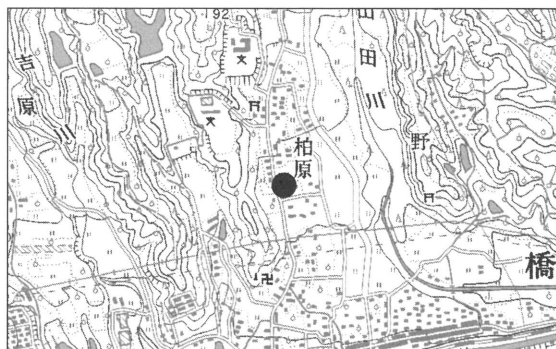
所在地 橋本市柏原

<地理的環境・調査の経緯>

柏原遺跡は、紀ノ川支流の山田川西岸に位置し、南に緩やかに下がる傾斜地に立地している。現在は一帯が宅地と水田地帯になっている。調査地南東側には鎌倉時代の文書が残る西光寺があり、西側丘陵上には仏性寺古墳群がある。

今回の調査は京奈和自動車道建設予定地における事前の確認調査である。一昨年度、昨年度にも調査をおこなっており、今回は第3次調査となる。

<調査成果> **調査区の設定** 一昨年、昨年度に調査していない範囲に計18箇所 of 調査区を設定した。基本的に耕作土及び床土は重機で掘削し、遺物包含層は人力で掘削した。遺構面が確認できる調査区では遺構面まで、遺構面が確認できない調査区では地山面まで掘削している。**各トレンチの概要** **1トレンチ** 1・2層は現代の攪乱・盛土層である。3層は褐色シルト層で、瓦質土器片が出土している。4～6層は黄褐色砂層～暗褐色砂礫層で、地山あるいは河川堆積と考えられる。**2トレンチ** 1-1・1-2・1-3層は現代の盛土・耕作土・床土である。3-1～3-3層は黄褐色砂礫層で、河川堆積と考えられる。4-1・4-2層は黄褐色シルト層で地山である。遺物は出土していない。**3トレンチ** 1・2層は現代の耕作土・床土である。3層は褐色細砂～シルト層で、4層はにぶい黄褐色砂礫層である。5層は褐色粗砂～シルト層で地山と考えられる。遺物は出土していない。**4トレンチ** 1・2層は耕作土・床土である。3層は褐色の細礫層で、3トレンチの3層に対応する。4層は黄褐色砂層、5層は褐色礫層、6層はやや粘質の暗褐色細砂層である。7-1・7-2層は褐色の細砂～細礫層で地山または河川堆積と考えられる。遺物は出土していない。**5トレンチ** 1・2層は現代の耕作土・床土である。3層は旧水田層で、瓦器や須恵器などが出土した。4層は暗褐色の礫層～シルト層で、3・4トレンチの3層に対応する。5-1・5-2層は黄褐色シルト～細礫層で、地山と考えられる。5-1層上面(地山面)は西側がやや高く、中央部が若干くぼんでいる。3層以外では遺物は出土していない。**6トレンチ** 掘削部分はすべて現代の攪乱であった。この敷地には部分的にゴミ等を投棄した箇所が



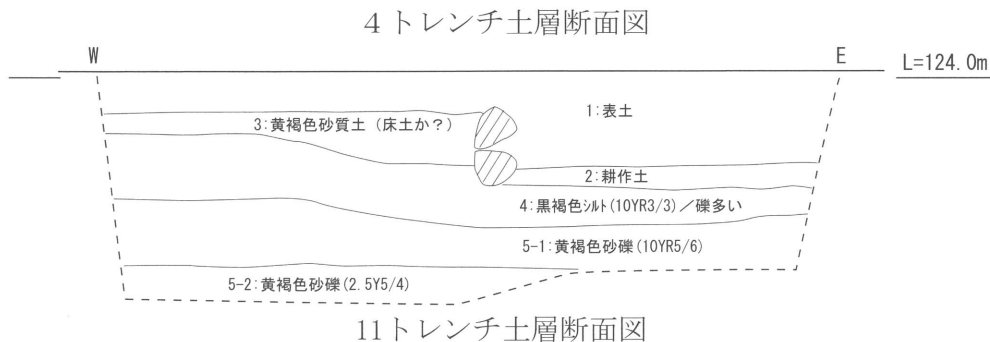
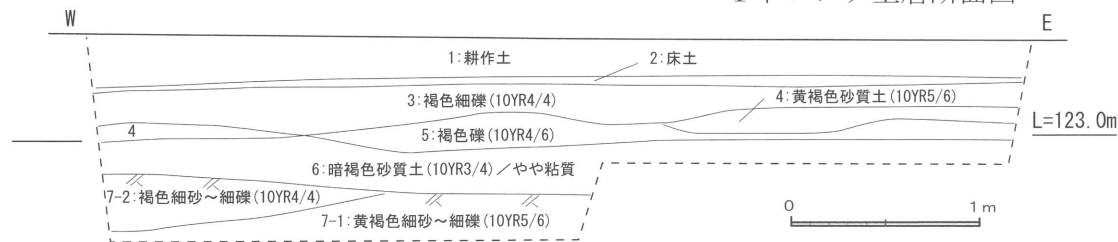
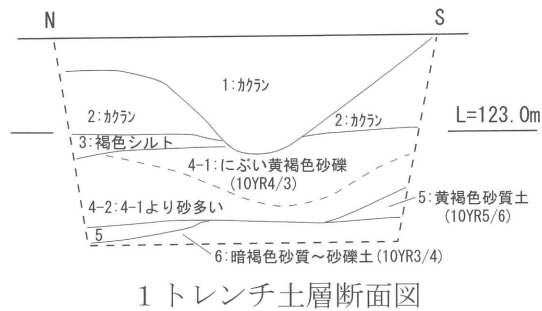
遺跡位置図



調査位置図

あるようである。 **7トレンチ** 1層・2層は現代の盛土と考えられる。3層に黒褐色層があるが遺物は出土しなかった。4層は砂礫層で河川堆積と考えられる。この調査区では遺物は出土していない。 **8トレンチ** 1-1層・1-2層は現代の盛土、1-3層・2層は現代の耕作土・床土である。3層は7トレンチ3層に類似した暗褐色層がある。4層は丘陵から流れ込んだ黄褐色層で、5層は河川堆積と考えられる砂礫層である。遺物は1-3層及び2層から若干出土している。 **9トレンチ** 1層は現代の盛土、2-1～3層は近現代の攪乱層である。3～5層は、砂層～礫層で地山または河川堆積と考えられる。遺物は出土していない。 **10トレンチ** 1層は現代の盛土で、2～7層は砂層～礫層で地山または河川堆積と考えられる。遺物は出土していない。 **11トレンチ** 中央部で現代水田の段があり、東側が1段低くなる。1・2層は現代の盛土・耕作土である。3層は床土と考えられ、瓦質土器が2片出土した。4層は黒褐色シルト層である。5-1・5-2層は黄褐色砂礫層で、地山あるいは河川堆積と考えられる。瓦質土器以外は出土していない。 **12トレンチ** 1・2層は現代の盛土、3～5層は暗褐色層で、3層から弥生土器あるいは土師器片が1点出土している。6層は砂礫層で河川堆積と考えられる。3層出土以外の遺物は、攪乱から近世以降の瓦のみである。

13トレンチ 1・2層は現代の耕作土・床土である。3層は暗灰黄色細砂層で、古代～中世の遺物を含む遺物包含層である。4層は黄褐色シルト層、5層は暗褐色細礫層で、遺物は出土していない。6-1・6-2層は黄褐色シルト・暗褐色細礫層で地山と考えられる。4層上面で落ち込みを検出した。 **14トレンチ** 1・2層は現代の耕作土・床土で、3層は旧水田層である。4層は近世の遺物包含層と考えられ、溶解した金属器が付着した粘土塊（ふいご羽口含む）・鉄片・粘土塊などが出土し、周囲に金属器加工工房があったと想定できる。5層は褐色シルトの整地層で、この上面で遺構を多く検出した。遺構は掘削していないため詳細な時期は確定できないが、調査区北端の遺構から中世の東播系こね鉢片が出土したことから、これらの遺構は中世の所産である可能性がある。6層は暗褐色細砂層で中世の遺物包含層、7層は暗褐色細礫層で須恵器などが出土しており古代の遺物包含層であろう。8層は褐色シルト層で地山である。8層上面で溝状の遺構3を検出している。遺構3から須恵器が出土している。 **15トレンチ** 1・2層は現代の耕作土・床土で、3層は旧水田層である。4層はにぶい黄褐色シルト層で、瓦器が出土したことから中世の遺物包含層の可能性はある。5層は南端部で確認した暗褐色シルト層で、弥生土器を

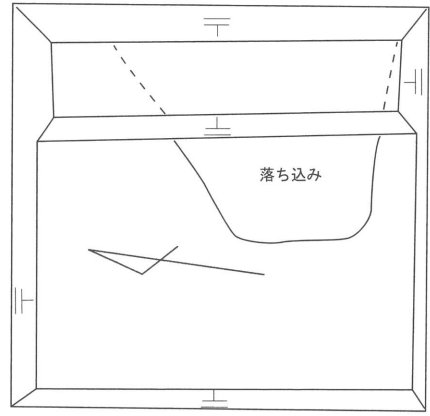
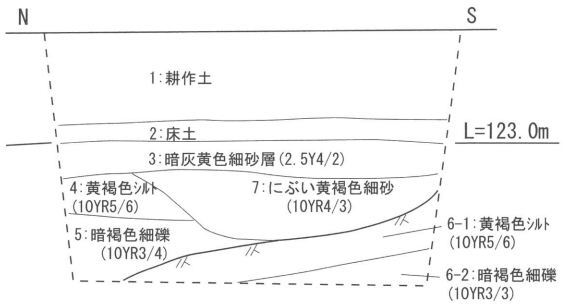


多く含む遺物包含層である。5層自体が遺構埋土である可能性もある。6-1~6-3層は黄褐色シルト~暗褐色細礫層で地山と考えられる。6層上面で遺構を多く検出した。遺構は掘削していないが、西壁にかかる遺構からは弥生土器の底部が2个体出土し、これらの遺構は弥生時代の所産であると推測できる。 **16トレンチ** 1・2層は現代の耕作土・床土である。3層は暗褐色シルト層であるが遺物は出土していない。4-1~4-4層は黄褐色砂礫層で、地山あるいは河川堆積層と考えられる。 **17トレンチ** 1層は現代の盛土である。2層は暗オリーブ褐色層で、遺物包含層の可能性も考えられたが遺物は出土していない。2層の下面で溝状の遺構を検出した。調査区の南東隅で地山を検出し、溝状の落ち込みを確認できた。遺構埋土から弥生土器片が出土したことから、弥生時代の遺構である可能性がある。調査区が狭いため遺構の規模・性格は不明である。 **18トレンチ** 1-1・1-2・2層は現代の盛土・耕作土・床土である。3層は14・15トレンチの3層に対応する旧水田層である。4層は暗褐色シルト層で遺物包含層の可能性はあるが、遺物は出土していない。5層は黄褐色砂礫層で地山と考えられ、ピットを1基検出した。

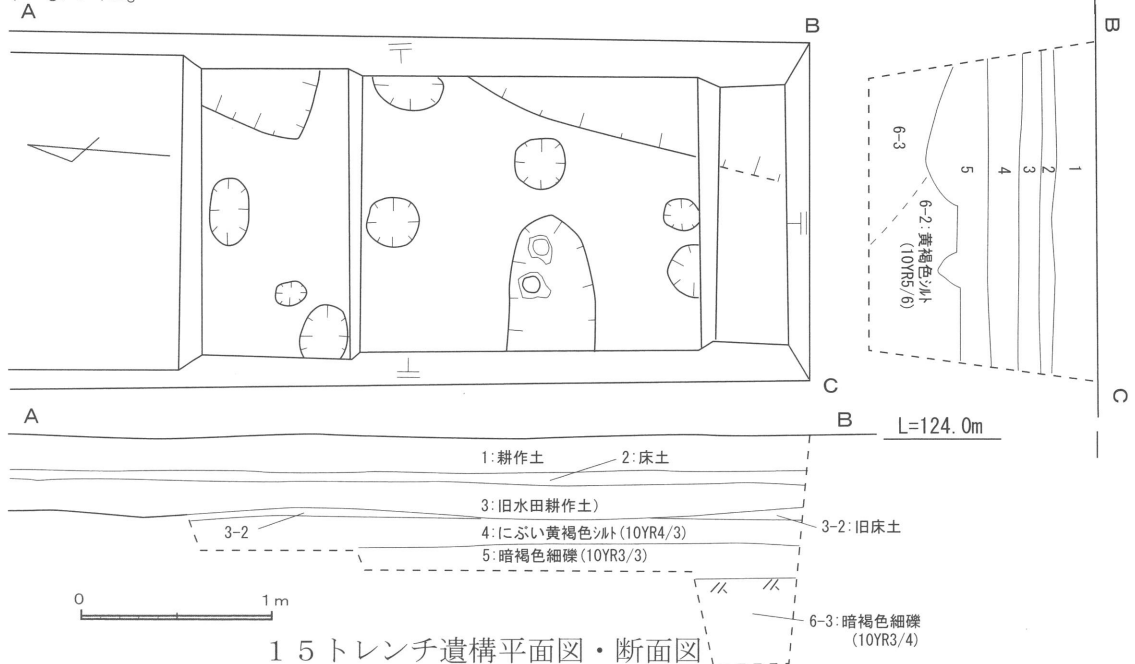
<所見> 今回の調査地の西端部（6~12トレンチ）では、明確な遺構・遺物包含層が確認できず、遺物もほとんど出土していない。中央部付近の1~4・16トレンチでは、遺構は確認できず、遺物もほとんど出土していない。5トレンチでは遺構は確認していないが、遺物が若干出土している。

東端部の13~15・17・18トレンチでは遺構を検出した。特に14・15トレンチでは複数の遺構を検出し、他の調査区に比べて遺物も多く出土している。

確認調査の結果、平成14~16年度に県文化財センターが本発掘調査を実施することになった。



13トレンチ遺構平面図・断面図



15トレンチ遺構平面図・断面図

18. 石ヶ谷遺跡

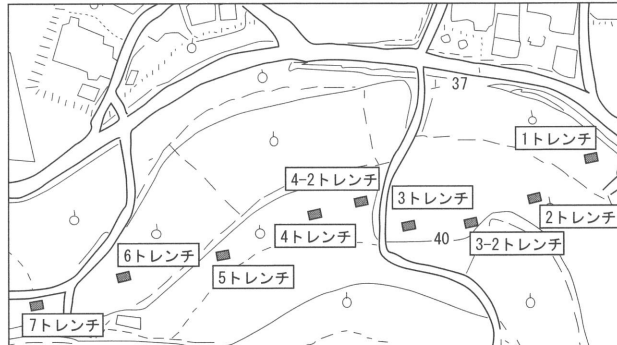
(調査件名 02-60)

種別 試掘・確認調査

所在地 吉備町西丹生図



遺跡位置図

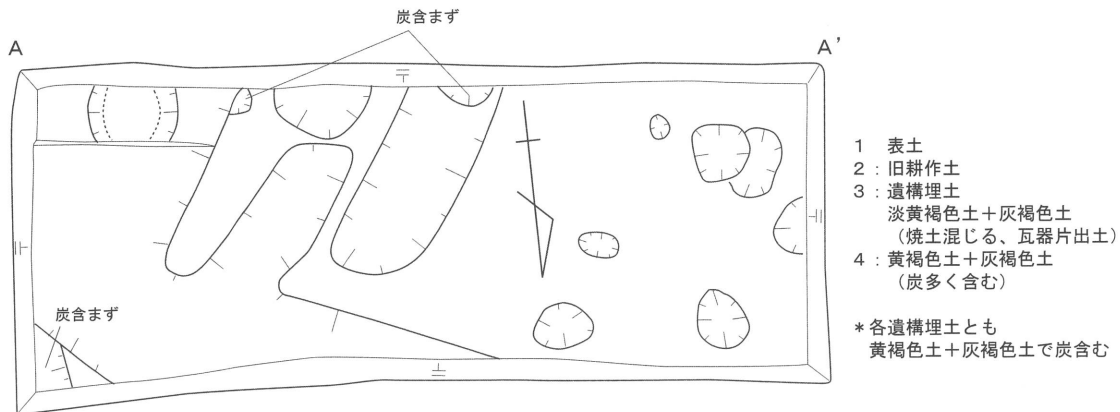


調査位置図

<調査の経緯> 県道吉備金屋線建設に伴う試掘・確認調査。

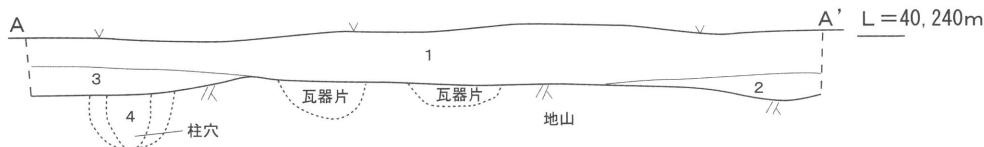
<調査成果> **調査区の設定** 工区の東から順に第7トレンチまで設定し、遺構分布状況の詳細を確認するため、3-2, 4-2トレンチを追加設定した。 **基本層序** 表土の下が地山面となる。地山上には、部分的に旧水田耕作層が残存していた。 **遺構** 3、3-2トレンチ地山面上で遺構を多数確認した。確認調査であったため部分的な遺構掘削にとどめた。 **遺物** 遺構から瓦器、土師器片が少量出土した。

<所見> 3、4トレンチ付近がやや高くなっているものの、地形的には調査区全体にわたり類似した状況を示している。このような状況にもかかわらず、遺構は3トレンチ付近にのみ分布していた。この結果に基づき、3トレンチ周辺について和歌山県文化財センターによる本発掘調査が実施された。詳細は『石ヶ谷遺跡－県道吉備金屋線改築工事に伴う発掘調査－』（2003. 10財団法人和歌山県文化財センター）に掲載。

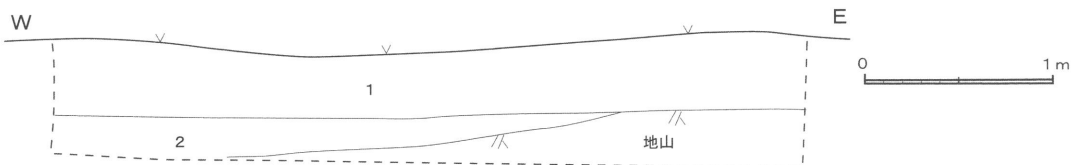


- 1 表土
- 2 旧耕作土
- 3 遺構埋土
淡黄褐色土+灰褐色土
(焼土混じる、瓦器片出土)
- 4 黄褐色土+灰褐色土
(炭多く含む)

*各遺構埋土とも
黄褐色土+灰褐色土で炭含む



4トレンチ遺構平面図・断面図



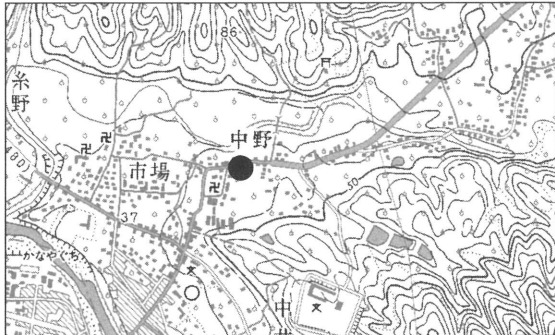
7トレンチ土層断面図

19. 中井原遺跡

(調査件名 02-54)

種別 立会調査

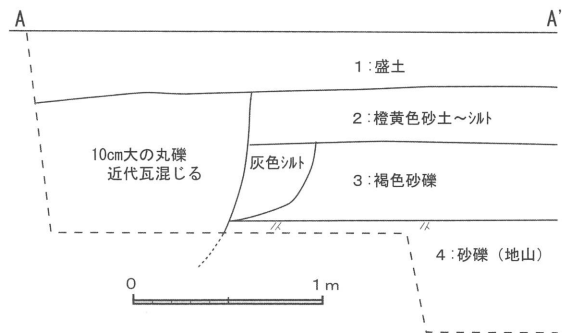
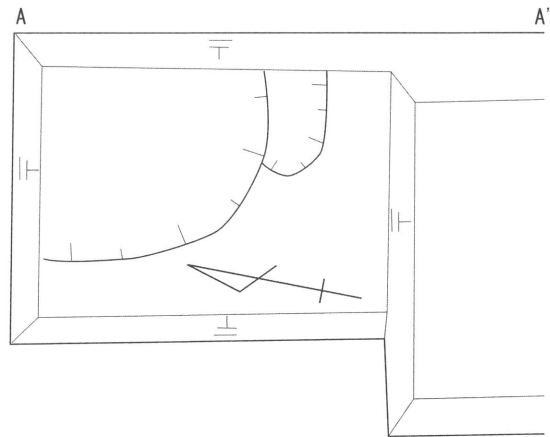
所在地 金屋町中野前田



遺跡位置図



調査位置図



遺構平面図・断面図

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> 2層上面で近代の遺構1基、3層上面で遺構1基を検出したが、遺物を含まないため、時期を特定することができなかった。

22. 葛籠遺跡

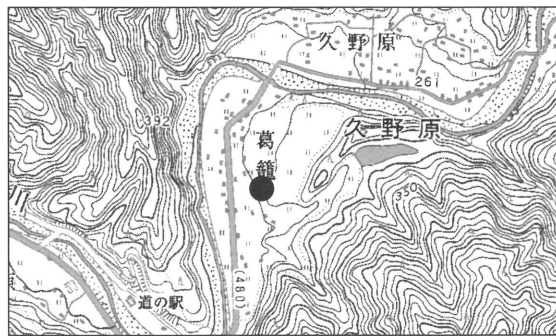
(調査件名 02-172)

種別 立会調査

所在地 清水町久野原

<調査の経緯> 個人住宅擁壁部分及び基礎部分の掘削に伴う立会調査。

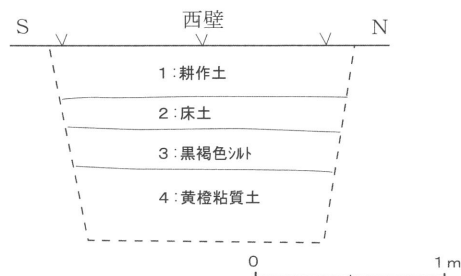
<調査成果> 擁壁部、基礎部分とも、下のような土層であった。3層黒褐色土層について注意深く掘り下げたが、遺構・遺物とも検出できなかった。



遺跡位置図



調査位置図



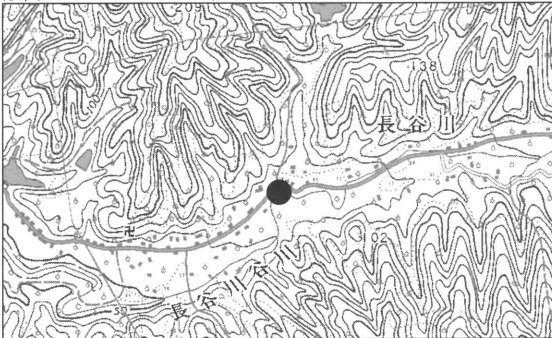
土層断面図

20. 岡の前遺跡

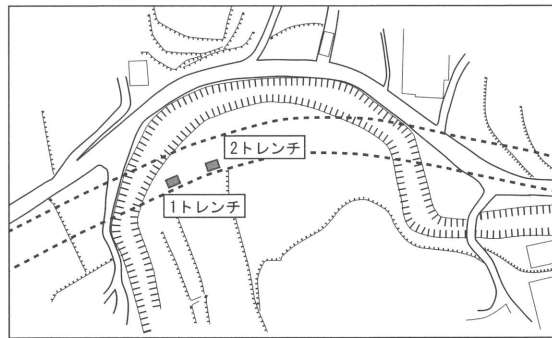
(調査件名 99-161)

種別 試掘・確認調査

所在地 金屋町長谷川



遺跡位置図



調査位置図

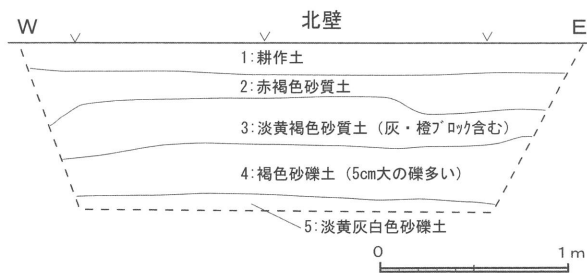
<調査の経緯> 国道480号改良工事に伴う試掘・確認調査。

<調査成果> **調査区の設定** 道路建設予定地に沿い東西2ヶ所の調査区

(1トレンチ:1.5×4m、2トレンチ:2×3m)を設定した。**基本層序** 1層耕作土、2-1層赤褐色砂質土、2-2層淡黄灰白色砂質土、3層褐色砂礫土、4層淡黄灰白色砂礫土。1, 2層は果樹園のための耕作土。3層以下は、河川堆積と考えられる砂礫層であった。

遺構・遺物 検出できなかった。

<所見> 過去に今回の調査区の東約30mで試掘・確認調査を実施しているが、このときも遺構・遺物ともなく、土層についても河川堆積層がみられる類似した状況であった。このため、本発掘調査の必要はないと判断した。



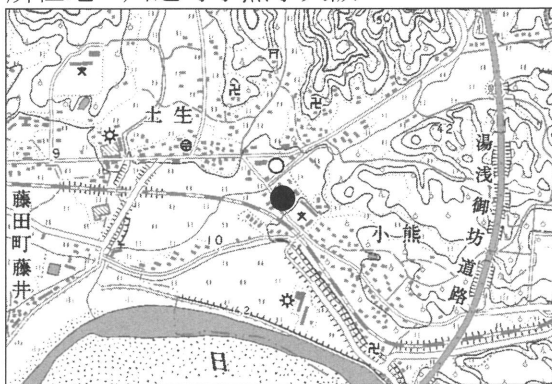
2トレンチ土層断面図

23. 小熊遺跡

(調査件名 02-38)

種別 立会調査

所在地 川辺町小熊字大阪



遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 個人住宅浄化槽部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> **基本層序** 1層盛土、2-1層灰色粘土層(現代)、2-2層灰色粘質土(黄色粘土ブロック含む)、3-1層暗灰色粘質土、3-2層暗褐色粘質土、4-1層黄灰色粘質土、4-2層淡黄灰色粘質土 **遺構・遺物** 3層のやや泥炭気味の土層について注意深く掘り下げたが、遺構・遺物は検出できなかった。

24. 手取城跡

種別 現地確認調査

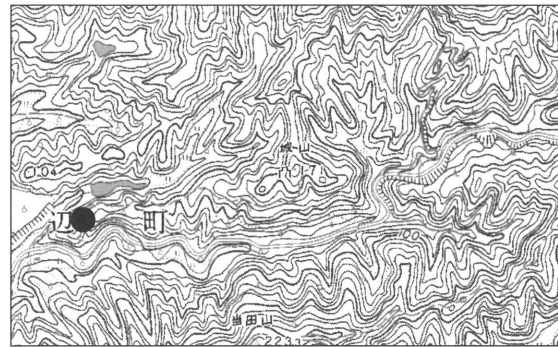
所在地 川辺町和佐

＜調査の経緯＞ 和歌山城郭調査研究会から手取城近くの道路脇の断面に竪堀跡が露出しているとの連絡を受け、現地確認調査を実施した。

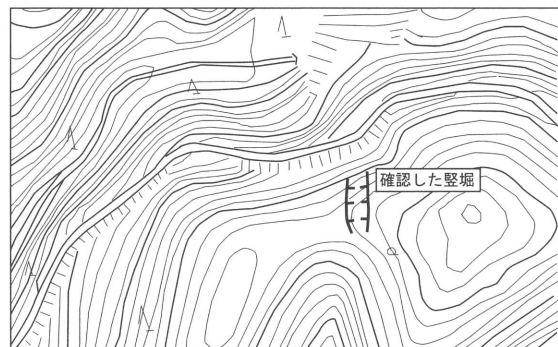
＜調査成果＞ 地形は、従前から竪堀と評価されている部分と類似した位置で尾根を切断している。土層は、地山の上に黒色土（腐植土）が堆積しているが、西側の肩部にはこの黒色土上に黄灰色土が堆積しており、掘削がおこなわれた可能性が高い。他の竪堀がコの字断面を呈するのに対して緩いU字形を呈している点が異なるが、現状資料では竪堀の可能性が高いといえる。

他にも同様の断面形を呈するところが2ヶ所あったが、人工的な掘削や堆積を示すものとはいえない。

＜所見＞ 竪堀の可能性が高く、手取城の一部をなすものとして埋蔵文化財包蔵地の範囲を変更した。変更範囲については2ページ参照。



遺跡位置図



調査位置図

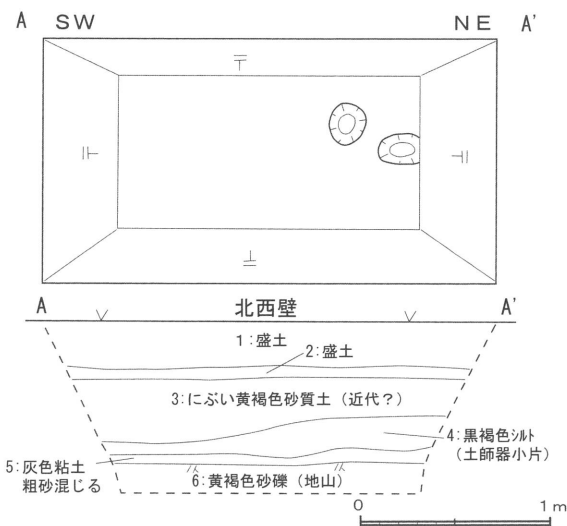
25. 井上 I 遺跡

(調査件名 02-168)

種別 立会調査

所在地 印南町西ノ地小庵

＜調査成果＞ 南西方向にややレベルを下げながら数cmから20cm程度の厚さで堆積する黒褐色シルト層（4層）を確認した。土師器、縄文土器小片をわずかに含む。5層上面でピット2基を検出した。遺物の出土がなく時期は不明。



遺構平面図・断面図



遺跡位置図



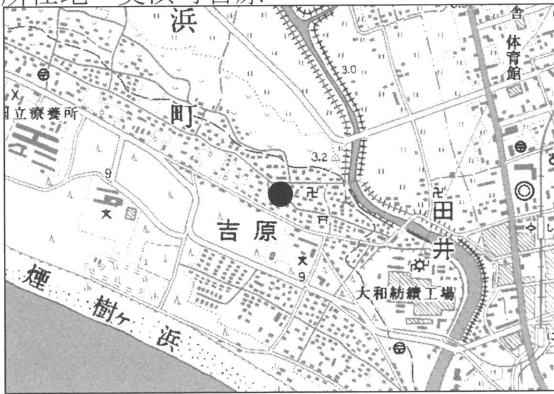
調査位置図

26. 吉原御坊跡

(調査件名 02-114)

種別 立会調査

所在地 美浜町吉原



遺跡位置図



調査位置図

27. 吉原遺跡

(調査件名 58条の2)

種別 試掘・確認調査

所在地 美浜町吉原字大松原

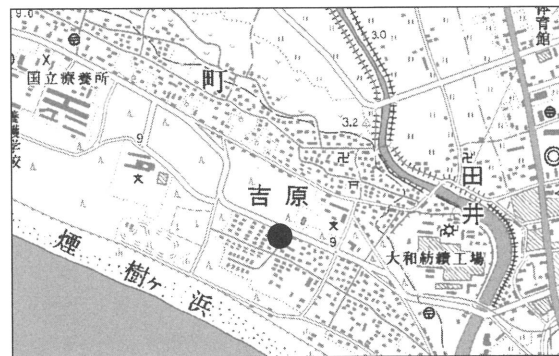
＜調査の経緯＞ 分譲住宅建設に先立ち、業者から試掘・確認調査の依頼を受けた。当該地は吉原遺跡の縁辺部に位置しているが、北側に隣接する県道改良に係る発掘調査（昭和61年度県文化財センター実施）で、弥生時代を中心とする墳墓群が検出されているため、一部包蔵地の範囲外についても調査をおこなった。

＜調査成果＞ **調査区の設定** 1～5トレンチを設定した。当該地は以前財務局の官舎があり、基礎等がかなりの範囲に分布しているため、中央付近に調査区を設定することができなかった。

基本層序 1層:表土、2層:暗灰黄～オリーブ黒(2.5Y4/2～2.5Y3/2)砂質土、3層:黄褐色～オリーブ褐色(2.5Y5/4～2.5Y4/4)砂質土、4層:灰オリーブ～オリーブ褐色(5Y4/2～2.5Y4/4)砂質土、5層:暗灰黄砂質土(2.5Y4/2)

遺構・遺物 5トレンチの3層上面で掘り込みを確認したが、遺物の出土がないため時期は不明である。遺物は4トレンチ1, 3層で土師器1片が出土したのみである。

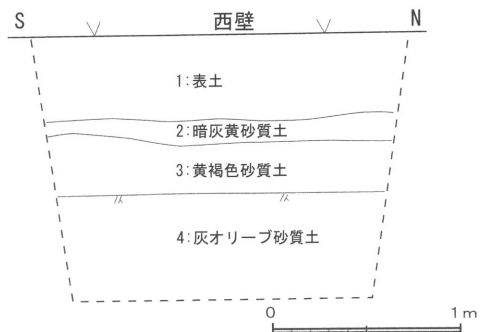
＜所見＞ 遺構・遺物ともほとんど検出できなかったが、北側の県文化財センター調査区土層との対応関係は確認できた。墳墓を多数検出した遺構面は4層上面に対応していると考えられる。今回の調査は小面積であったため、遺構の検出はできなかったが、分布している可能性は残されており、今回の結果から遺跡外と判断することは現段階では難しい。



遺跡位置図



調査位置図



3トレンチ土層断面図

28. 谷口遺跡

(調査件名 02-260)

種別 立会調査

所在地 南部川村谷口上六斗田



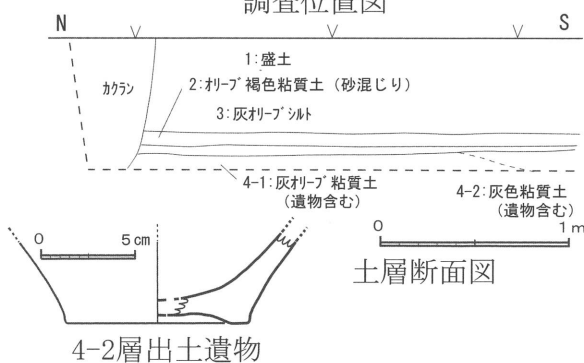
遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 個人住宅基礎部分の掘削に伴う立会調査。

<調査成果> 表土から60cm下に弥生時代の遺物を含む灰利-ブ粘質土(4-1層)が堆積。この層は南方へ落ち込んでおり、落ち込み部の上には灰色粘質土(4-2層)が堆積する。4-2層にはより多くの遺物が含まれる。工事の掘削深度の関係上これより下位の確認はできなかった。



29. 高田土居城跡

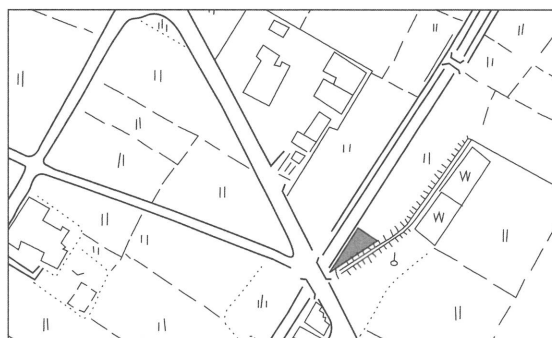
(調査件名 00-99)

種別 立会調査

所在地 南部町気佐藤



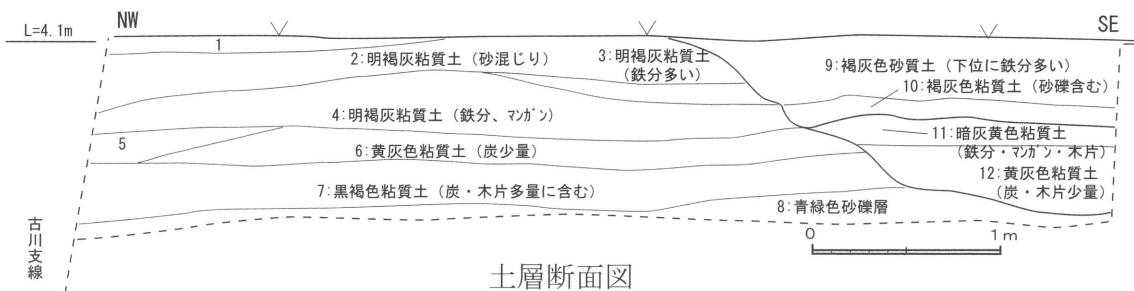
遺跡位置図



調査位置図

<調査の経緯> 県道上富田南部線拡幅工事に伴う立会調査。

<調査成果> 砂礫層(8層)の上に炭・木片を多く含む黒褐色粘質土層(7層)、褐色系粘質土層(1~6層)が堆積する。南東部で高田土居城の外堀の可能性のある溝跡を検出したが、遺物の出土がなく、時期を確定することができなかった。



30. 徳蔵地区遺跡

(調査件名 00-101)

種別 立会調査

所在地 南部川村徳蔵

<調査の経緯> 国道424号線改良工事に伴う試掘・確認調査。

<調査成果> **調査区の設定** 道路東側に9～11トレンチを設定した(番号は昨年度調査からの連番)。**9トレンチ 層序** 3層までは現代。この下にシルト層(5層)が堆積。5層の北半は薄く、上部に砂礫層(4層)が堆積しており、河川の上部堆積層と考えられる。7～9層はシルト層で南端部に河川の肩部として検出した。6層は砂礫層で河川の下部堆積層と考えられる。地表から2.3mで10層の砂礫層を検出。**遺構・遺物** 遺構は検出できず、遺物も5, 6層から土師器片が各1点出土したのみである。**10トレンチ 層序** 基本的に9トレンチと同じ堆積で、河川の上部砂礫層(4層)、黄褐色シルト～粘質土層(5層)、河川の下部砂礫層(6層)に分けることができる。**遺構・遺物** 遺構は検出できず、遺物も6層から土師器片が数点出土したのみである。

11トレンチ 層序 0.6×2mの狭小な範囲の調査となった。地表から約70cmまでは攪乱されており、以下に黄灰色シルト層が続く。**遺構・遺物** シルトから土師器片が数点出土したが、時期は不明。

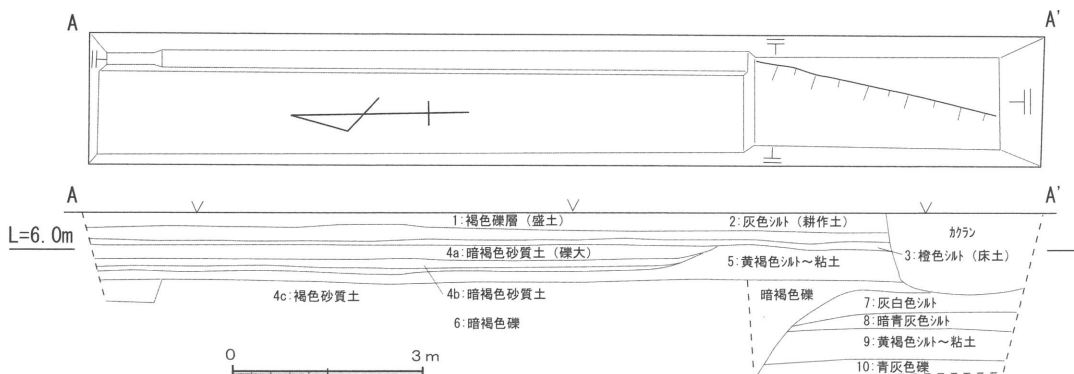
<所見> 9, 10トレンチ付近はほぼ南北方向に自然河川が流れており、遺跡の分布は認められない。11トレンチ付近は、調査面積が小さく今回の調査でははっきりとした状況をつかむことができなかったが、東、南隣の県文化財センター2001, 1998年調査結果から判断すると、微高地が続いており、遺構・遺物が含まれる可能性が極めて高い。



遺跡位置図



調査位置図



9トレンチ平面図・断面図 (S=1/120)

3 1. 徳蔵周辺遺跡

(調査件名 01-323)

種 別 試掘・確認調査調査

所在地 南部町東吉田

<調査の経緯> 古川改修工事に伴う試掘・確認調査

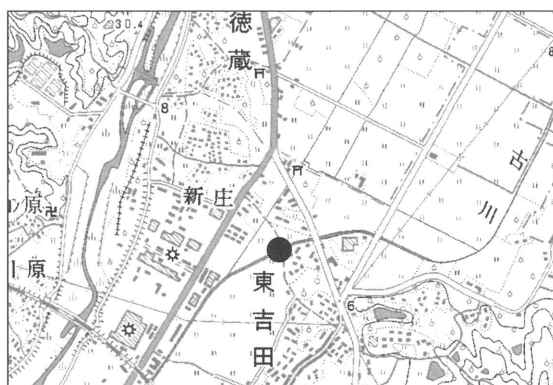
<調査成果> **調査区の設定** 古川左岸の下流側から順に1～3トレンチを、右岸の上流側から順に4～6トレンチを設定した。

1トレンチ 層序 地表から1.2m程掘り下げ、1層から6層までを確認した。5層は、鉄分の量、土質からa, b, cの3層に細分できる。5b層は、縦筋状の鉄分を非常に多く含む。5c層は、粘質土をベースとするが少量の砂を含み、やや青灰色を呈する。6層は、青灰色粘質土であるが、5c層より砂分が多い。 **遺構・遺物** 遺構は検出できなかった。遺物についても、3層から備前焼の播鉢片1点、4 or 5層から土師質の小片(時期不明)が1点出土したのみである。

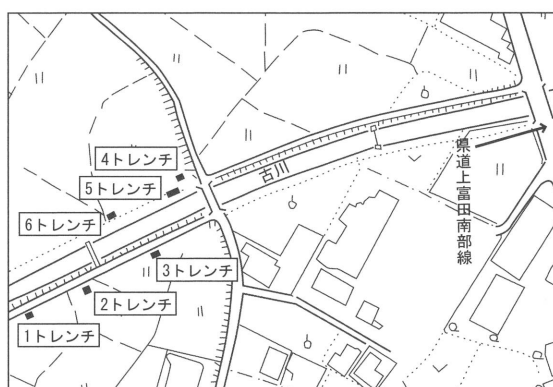
2トレンチ 層序 地表から1.3m程掘り下げて1層から7層までを確認した。第1トレンチと類似した土層であるが、6層の下部に木片を含むやや黒っぽい青灰色粘質土層(6b層)がある。この下に青灰色砂礫層が続く。 **遺構・遺物** 遺構は、4層上面で小ピットを1個検出したのみである。遺物についても、第1、3層から少量の摩耗した土師質の土器片(時期不明)が出土したのみである。

3トレンチ 層序 3トレンチは、地表から1.3m程掘り下げて1層から6層までを確認した。2トレンチとほぼ同様の土層であるが、6b層に木片とともに比較的多くの土器を含む。この下20cm程を掘り下げ、遺物がなくなることは確認したが、砂礫層(7層)までは達しなかった。 **遺構・遺物** 遺構は検出できなかった。6b層で比較的摩耗の少ない弥生時代終末から古墳時代初頭(庄内式段階)の土器が約50片出土した(須恵器2点含む)以外は、4層で少量の摩耗した土師質土器片が出土したのみである。

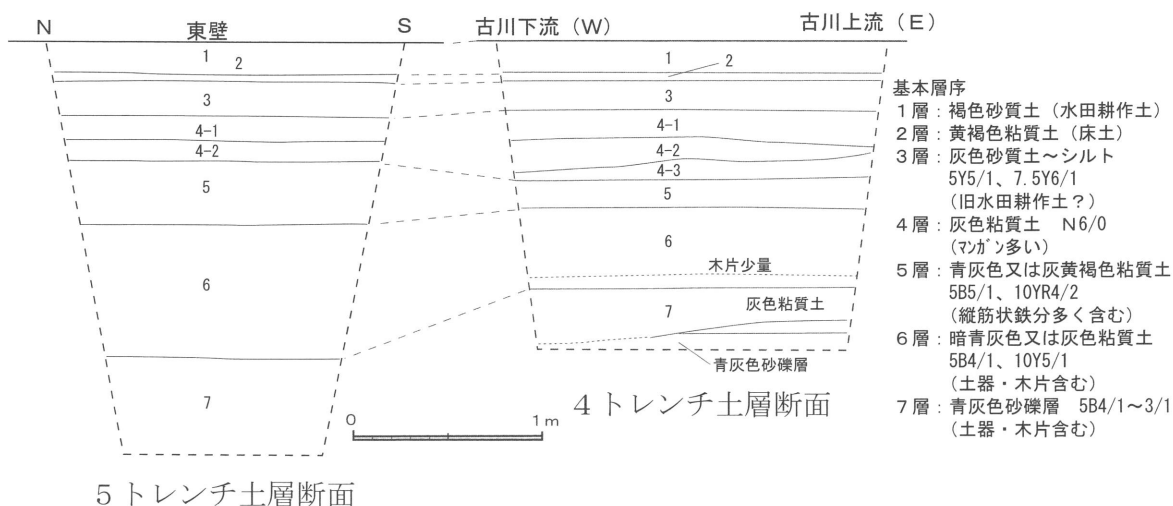
4トレンチ 層序 地表から1.6m程掘り下げたと



遺跡位置図



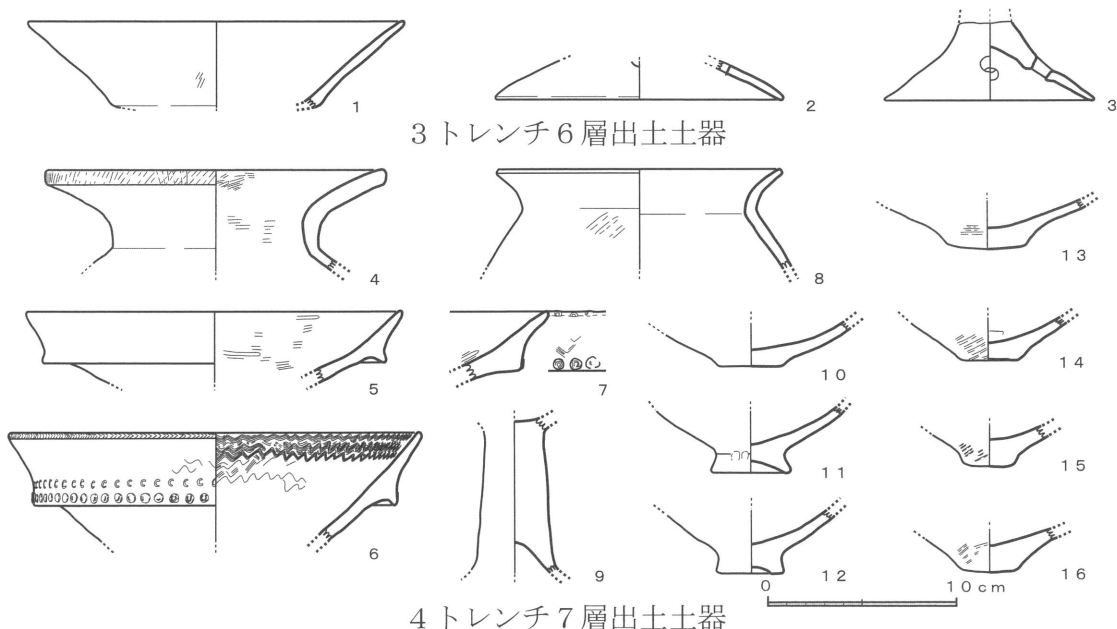
調査位置図



ころで湧水があったが、7層まで確認することができた。1～3トレンチと異なり、3層と5層の間に砂礫層と粘質土層を計3層挟む。木片を含む6b層があることは、第3トレンチと同様であるが、土器が7層に含まれる点において異なる。7層は、2トレンチとほぼ同レベルで検出した。**遺構・遺物** 遺構は検出できなかった。7層で3トレンチ6b層検出の遺物と同時期（庄内式期）の土器が多く出土した（須恵器も2点含む）。**5トレンチ 層序** 地表から1.8m付近で湧水があったが、7層まで確認することができた。4トレンチと同様の土層であるが、6層が厚く堆積し、4トレンチに比べ30cm程下で7層を検出した。**遺構・遺物** 遺構は検出できなかった。遺物は、7層中の上位で少量土器片（小片のため断定できないが、庄内式期の可能性が高い）が木片とともに出土した。**6トレンチ 層序** 6トレンチは、4層までは確認できるものの、その下は、粘質土ベースに砂、1cm大の礫が混じる層と4cm大の礫を多く含む砂礫層が続く、他のトレンチと異なる。しかし、この前後約2mの位置に設定した6-2、3トレンチでは、他のトレンチと同様の堆積をしている。
 <所見> 今回の試掘調査範囲は、ほぼすべてが低（湿）地であったが、東に道を1本隔てて隣接する場所は、北へ舌状に伸びた丘陵であり、弥生時代終末から古墳時代初頭にかけての集落があったことが発掘調査（平成13年度和歌山県文化財センター実施）で明らかになっている。

この調査結果を考慮すれば、今回の第3トレンチ第6b層、第4、5トレンチ第7層出土の弥生時代終末から古墳時代初頭に位置づけられる土器は、丘陵からの転落遺物であると考えられる。この時期の地形は、丘陵と1.6m以上のレベル差があり、丘陵から急激に落ち始め、3、5トレンチ付近（実際はもう少し西か？）で、最も低レベルとなり、第2、第6トレンチ付近で再び若干レベルを上げる。また、第4、5トレンチでは、砂礫に埋まるように土器が出土することや、第4トレンチで薄い粘質土層を砂礫層中に挟むことから考えて、当時、丘陵端に沿った南北方向の水の流れがあった可能性を考えることができる。いずれにしても、丘陵の西側は低地で、湿地あるいは河川を形成しており、遺跡は存在しない。時期については、須恵器の存在から、少なくとも弥生時代終末から6世紀まではこのような地形であったと思われる。

この時期以降の5層堆積時の環境は、（青）灰色粘質土と葎などの植物痕跡と思われる鉄分から、湿地を形成していたと思われる。3層、4層も大部分が灰色粘質土であるが、3トレンチ3層、6トレンチ3、4層に砂分の多い灰色土、マンガン、散乱した鉄分など旧水田耕作層と考えられる痕跡が見られる。



3.3. 東吉田 I・II 遺跡

(調査件名 97-327)

種別 立会調査

所在地 南部町東吉田

<調査の経緯> 近畿自動車道建設に伴う東吉田 I、II 遺跡周辺の試掘・確認調査

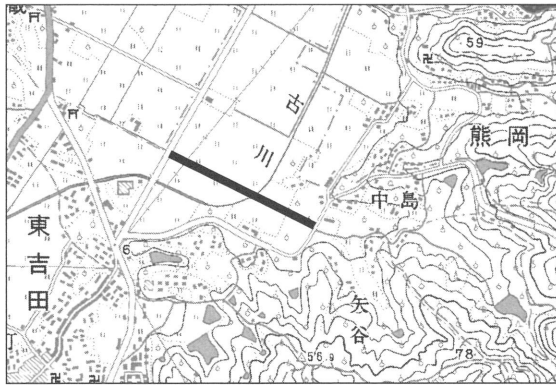
<調査成果> **調査区の設定** トレンチは県道秋津川南部線から順に東へ第1～11トレンチを設定した。なお、詳細な状況確認のため、第6トレンチの南側に第6-2の小トレンチを追加設定した。**各トレンチの概要**

層序 すべてのトレンチで概ね類似した状況を観察することができた。東側で1～3層が削平されているが、5層までは鉄分、マンガンの分布状況から土層を対応づけることができる。これより下は、1～2トレンチ、3～6トレンチ、7トレンチ、8～9トレンチ、10～11トレンチで若干の違いが見られた。

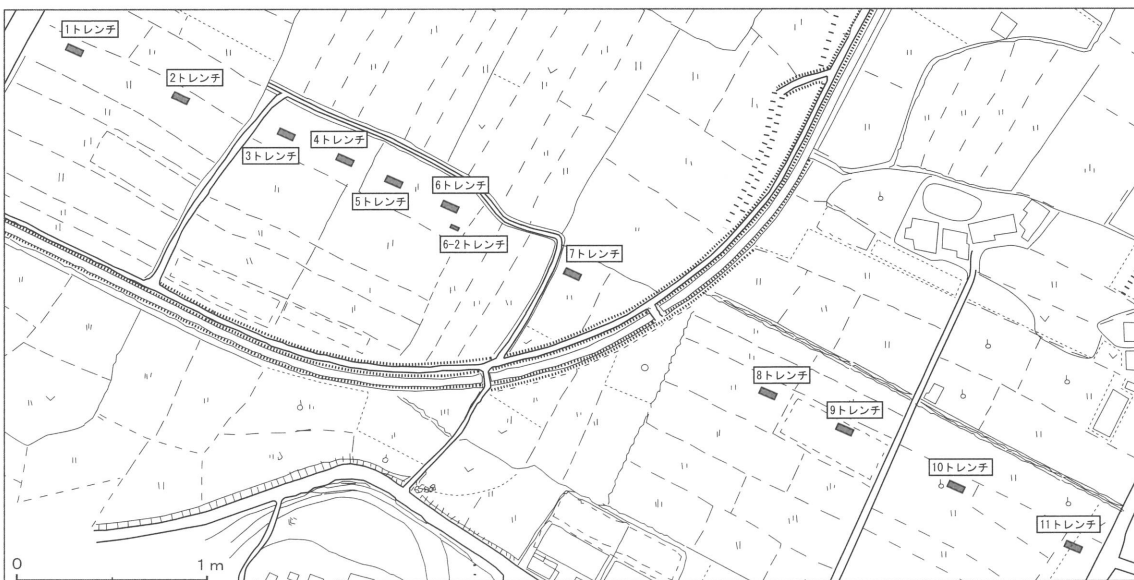
1～2トレンチでは、6～8（1トレンチは9層まで）層の灰～緑灰色シルトが交互に薄く堆積する状況が観察できた。3～6トレンチでは、7、8層が見られず、泥炭気味の6層の下が9層（灰色シルト）となる。7トレンチは、5層の下に根の痕跡を多く残す8層（酸化が十分でないためか黒っぽい）が見られた。8～9トレンチは、5層と8層の間に泥炭気味の6層が介在する。10～11トレンチは盛土が厚いため、6層以下を確認することができなかった。2、4、6、7トレンチについて埋め戻し時に2m程度深掘りをしたが、すべて灰色のシルト～粘土層が続いていた。

遺構・遺物 3b層上面で近世と考えられる鋤溝を検出した以外遺構の検出はできなかった。遺物は、各層（特に3a, b層（旧水田層））から少量土師器片が出土したのみである。これらはすべて小片で、摩耗が激しい。

<所見> 調査区全面で、3層のマンガン、4、5層の縦筋状の鉄分、6層の泥炭など有機物の痕跡が観察できた。しかしながら、6層は、水中に有機物が閉じこめられた状況、4、5層は湿地植物が分布している状況を示しており、人が生活できる環境ではなかったと考えられる。また、6層より下では、植物の痕跡すら見られない灰色系のシルト又は粘質土である。7トレンチの8層については、植物の痕跡が見られ、比較的堅い安定した地盤を形成していたようであるが、周辺の調査状況から考えると非常に小規模な範囲であり、生活が営まれていたとは考えにくい。



遺跡位置図



遺跡位置図

34. 熊岡Ⅱ遺跡

(調査件名 ①02-20/②00-338)
種別 ①確認調査/②立会調査
所在地 南部川村熊岡

①確認調査

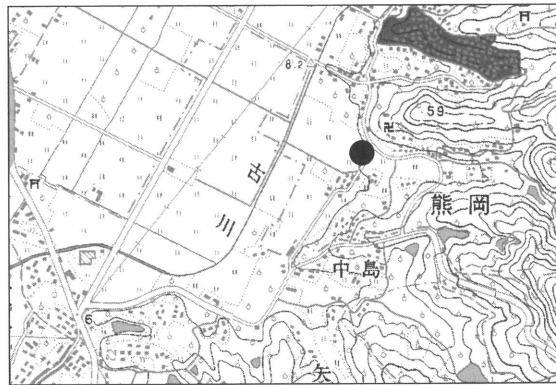
<調査の経緯>

熊岡Ⅱ遺跡は、平成13年度に(財)和歌山県文化財センターが実施した試掘・確認調査の結果、奈良時代～中世を中心とした遺物を含む包含層が確認できた埋蔵文化財包蔵地である。今回、遺跡内において村道熊岡高原田線改良(拡幅)工事がおこなわれることになり、事前に遺跡の実態を明らかにする目的で確認調査を実施することになった。

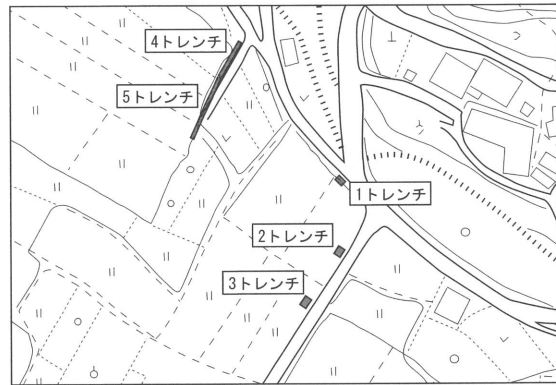
<調査成果> **調査区の設定** 工事予定地内に3箇所の調査区(1～3トレンチ)を設けて調査をおこなった。それぞれの調査区の規模は、1トレンチ：2×3m、2トレンチ：2.5×3m、3トレンチ：2.5×4mで、合計調査面積は23.5㎡である。
各トレンチの概要 **1トレンチ** 3層および4層から中世を中心とする遺物が出土した。これらの層は水田耕作に関わる堆積と考えられ、遺物は周囲から流れ込んだものである可能性がある。5層上面で河川と思われる落ち込みを検出したほかは明確な遺構は検出できなかった。なお、調査区外の西側隣接地における土層露出部分で、5層上面から掘り込まれる遺構が確認できた。この調査区より西側は現在の水田面が一段低くなっており、すでに6層より上部は削平されている可能性が高いと考えられる。

2トレンチ この調査区では、3～5層から遺物が出土した。特に3、4層からは中世を中心とした遺物が多く出土している。3、4層より下層は、礫層(5層)、シルト～粗砂層(6層)となっており、河川堆積あるいは氾濫による堆積層であると考えられる。

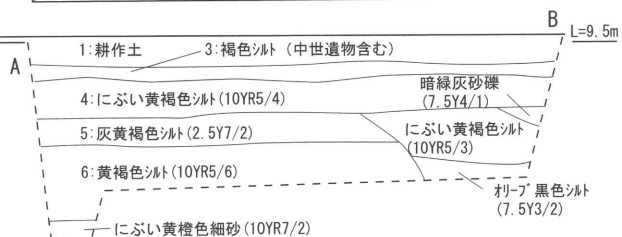
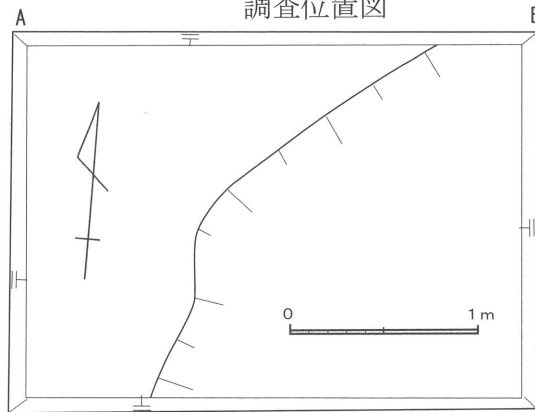
5層上面で、ピットを2基検出した(遺構1・2)。遺構1は径30cmをはかるピットで、埋土は礫混じり暗灰色シルトである。埋土上層より白磁片が出土した。遺構2は炭化物を多く含むピットである。いずれも遺構掘削はおこなっていないため、遺構の時期・性格は不明であるが、遺構2出土遺物より中世の可能性が考えられる。
3トレンチ 3～6層から遺物が出土した。出土した遺物から3層は近代、4・5層は中世の時期に相当する。6層は古墳時代の可能性がある。3および5層は水田耕作に関わる堆積で、4層は河川または洪水堆積であると推測できる。7層以下は、河川および湿地状の堆積である。遺構



遺跡位置図



調査位置図



1トレンチ遺構平面図・断面図

は、6層上面に溝状の遺構がある。埋土は黄褐色礫層で、東西方向にのびる。

出土遺物 出土遺物は、中世のものが大半を占め、土師器・陶器・白磁・瓦器・山茶碗などが出土した。

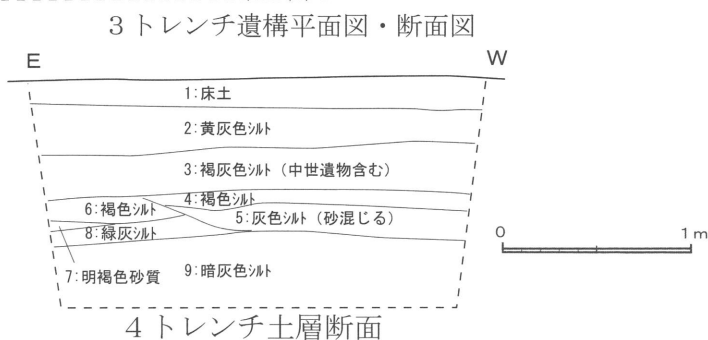
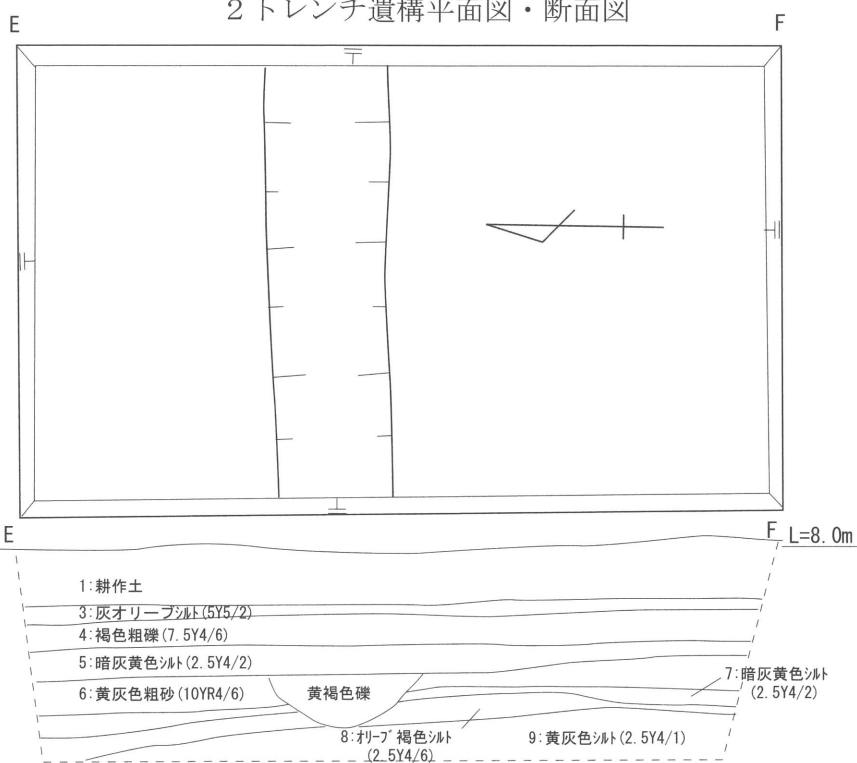
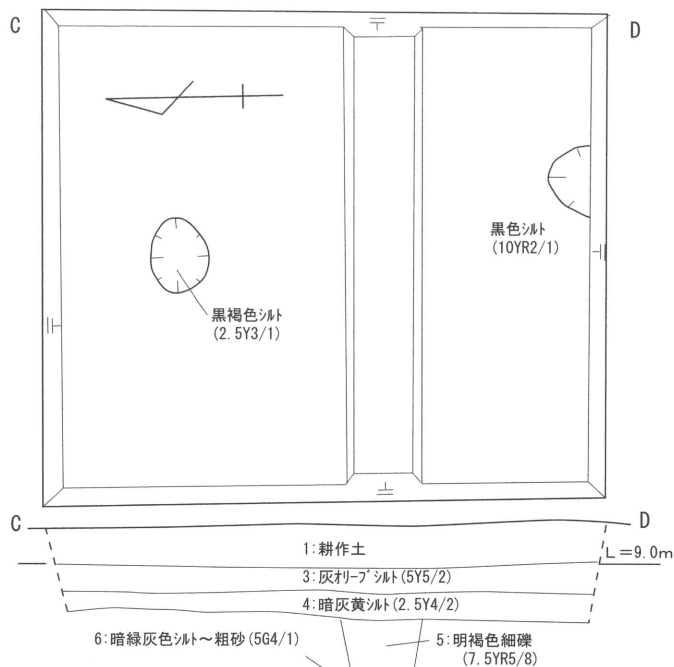
<所見> 今回の調査では、各調査区で遺物包含層を確認できた。昨年度文化財センターが村道付近で実施した7・9グリッドでも中世の遺物包含層が認められている。遺構は、2トレンチでピットを2基、3トレンチで溝を1条検出した。センターがおこなった7・9グリッドでは遺構は検出されていない。各調査区の土層断面の観察から、中世以降の水田耕作層が確認でき、部分的には洪水層あるいは湿地状と考えられる層も認められる。

②立会調査

<調査の経緯> ほ場整備事業に係る水路設置工事に伴う立会調査。

<調査成果> **調査区の設定** 北側から順に4, 5トレンチを設定した(試掘・確認調査から連番)。

遺構・遺物 遺構は検出できなかったが、2~5層から古墳時代から中世の遺物が出土した。

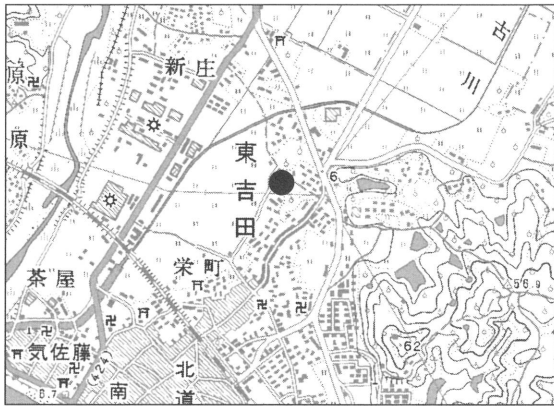


35. 大塚遺跡

(調査件名 01-197)

種別 立会調査

所在地 南部町東吉田字大塚



遺跡位置図



調査位置図

36. 江津良遺跡

(調査件名 02-207)

種別 立会調査

所在地 白浜町龍頭



遺跡位置図



調査位置図

37. 川関遺跡

(調査件名 02-202)

種別 立会調査

所在地 那智勝浦町天満



遺跡位置図



調査位置図

岩橋千塚古墳群の調査

1. 保存処理鉄器の再実測及び平成6年度調査の出土遺物

平成8年度に実施した大谷山・大日山古墳群の調査（『岩橋千塚周辺古墳群 緊急確認調査報告書』平成12年3月31日和歌山県教育委員会）で多くの鉄製品が出土している。平成14年度に、この一部について文化庁の国庫補助事業として保存処理を行った結果、当時の認識と異なる部分が生じたため、再実測をおこないその実測図を掲載した(図100～105)。

平成14年度の保存処理事業では、平成6年度に発掘調査した大谷山12～17・38号墳出土の鉄製品の一部についても実施した。この発掘調査資料については、未報告であったので、保存処理遺物以外の遺物についても今回掲載することとした。

2. 平成6年度 岩橋千塚古墳群（大谷山地区）の調査

出土遺物掲載にあたって、平成6年度の調査概要について報告する。

調査方法

大谷山北斜面に計画された宅地造成に対し、保存協議資料を得るため、大谷山地区のうち最も東側の尾根に所在する12・13・14・15・16・17・38号墳の確認調査を行った。

保存協議資料とするため内部主体の確認を主眼とし、発掘調査は最小限とすることとした。墳丘については、目視で確認できないものについてトレンチ調査を行い、墳裾を確認した。以下に各古墳の調査成果を示す。

12号墳

墳丘 大谷山山頂から派生する4筋の尾根のうち、最も東側の尾根の最先端、標高約43mの稜線上に築造された径12m、墳丘高2.6mの円墳である。腐植土から円筒埴輪片が出土している。

埋葬施設 既に乱掘を受けており埋葬施設は確認できなかった。墓坑が確認されず、周辺に石材の散布も見られなかったことから、埋葬施設として木棺直葬あるいは粘土槨が考えられる。

13号墳

墳丘 12号墳の南南西上方約44m、標高約47mに位置する径13m、墳丘高1.8mの円墳で、主稜線からやや外れた東斜面に築造されている。

埋葬施設 墳丘のほぼ中心部に構築した、結晶片岩を使用した横穴式石室を埋葬施設とする。横穴式石室は南東方向に開口する両袖式で、玄室・玄室前道・羨道からなる。玄室は幅1.85m・奥行2.35mを測るが、壁体は床面から0.51～1.30mを残し上半部は欠失していた。内部に玉石を詰め、板石で蓋をした排水溝が岩盤を掘り込んで設けられ、壁面際四周を回り羨道外へ抜ける。床面には玉石が敷かれていたが、四隅を除き攪乱を受けていた。

14号墳

墳丘 12号墳の南西上方約21m、標高約42mに位置する径15m、墳丘高4.3mの円墳で、尾根稜線上に築造されている。

埋葬施設 墳丘の中心部からやや東よりに構築した、結晶片岩を使用した横穴式石室を埋葬施設とする。横穴式石室は、13号墳同様、南東方向に開口する両袖式で、玄室は幅1.95m・奥行2.1mを測るが、壁体は床面から0.96～1.20mを残し、上半部は欠

失っていた。玄室内からは排水溝を検出できなかったが、壁体下に設けられている可能性がある。床面には玉石が敷かれている。

15号墳

墳丘 14号墳の南西上方約35m、標高約54mに位置する径15m、墳丘高4.1mの円墳で、稜線上に築造されている。

埋葬施設 結晶片岩を使用した南東方向に開口する両袖式の横穴式石室を埋葬施設とする。玄室は幅1.9m・奥行2.30mを測るが、壁体は床面から0.40～0.70mを残し、上半部は欠失していた。14号墳同様、玄室内からは排水溝を検出できなかったが、壁体下に設けられている可能性がある。床面には玉石が敷かれている。

38号墳

墳丘 15号墳の西南西上方62m、標高約70mに位置する径10m、墳丘高1.8mの円墳で、稜線上に築造されている。

埋葬施設 墳丘の中心部に構築した、結晶片岩を使用した横穴式石室を埋葬施設とする。横穴式石室は南方向に開口する両袖式で、玄室幅0.95m・奥行2.25mを測る小型長方形石室である。壁体は床面から0.13～0.22mを残し、上半部は欠失していた。玄室には幅0.80m、長さ0.35mの玄室前道が設けられ、これに幅0.82m、長さ1.00mの羨道が付く。玄室床面には、片岩の板石が前面に敷かれていた。なお、排水溝を検出できなかったが、当初から設けられていなかったものと考えられる。

17号墳

墳丘 38号墳の南西上方12m、標高約72mに位置する径13m、墳丘高1.6mの円墳で、稜線上に築造されている。墳丘頂部から家形埴輪片が出土している。

埋葬施設 墳丘中央部に、尾根筋方向に主軸をもちほぼ並行する2基の竪穴式石室を埋葬施設とする。

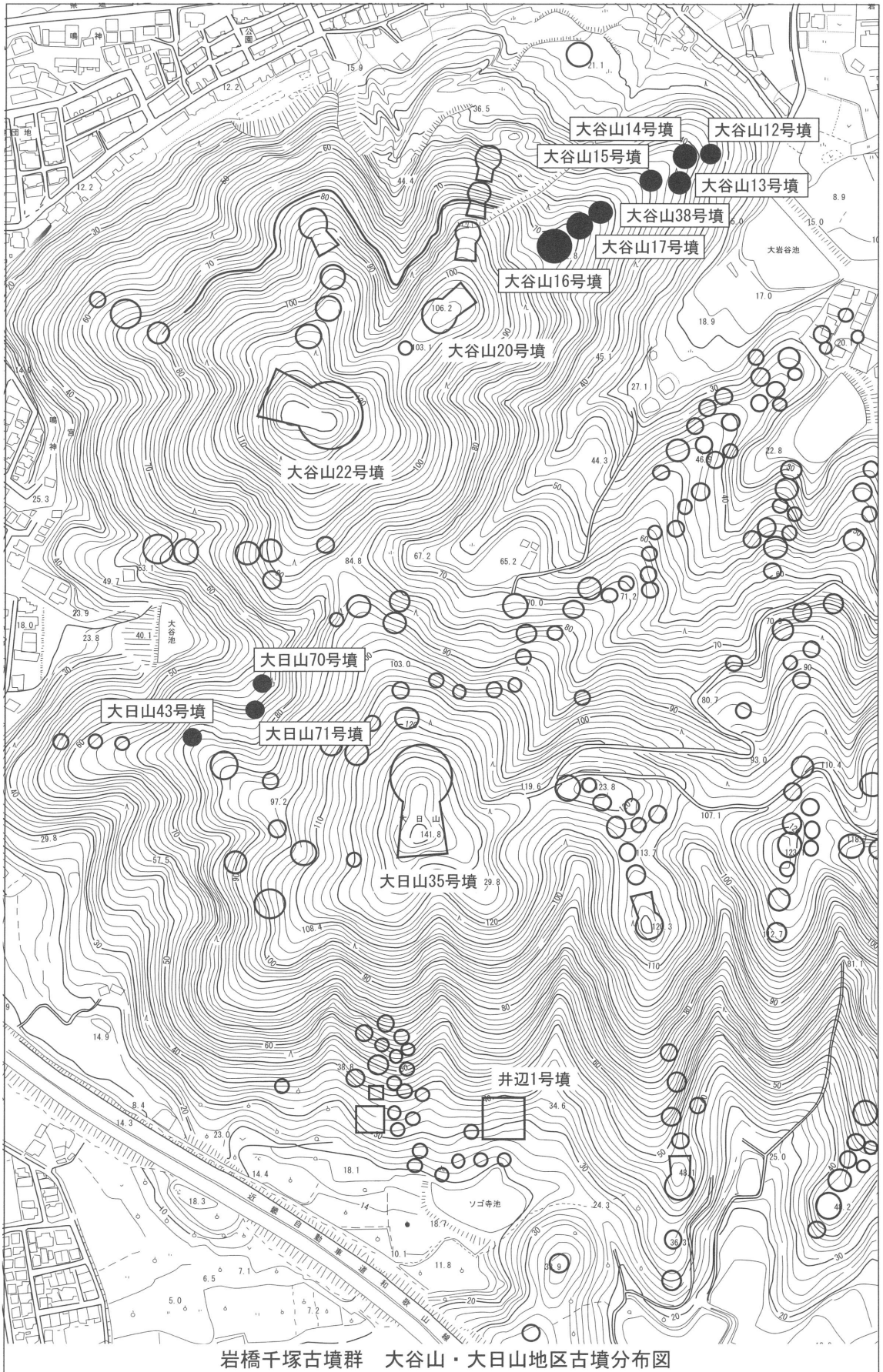
第1埋葬施設：2基のうち北側に位置する竪穴式石室で、西側小口近くが乱掘により破壊を受けるとともに、壁体は床面から0.30～0.40mを残すだけで壁体上部及び天井石は欠失する。石室規模は、東側小口幅0.83m、西側小口幅0.73m、主軸長3.10mを測る。東側小口壁から0.41mのところ板石を横立させ一室を画し、この中に鉄製品が副葬されていた。

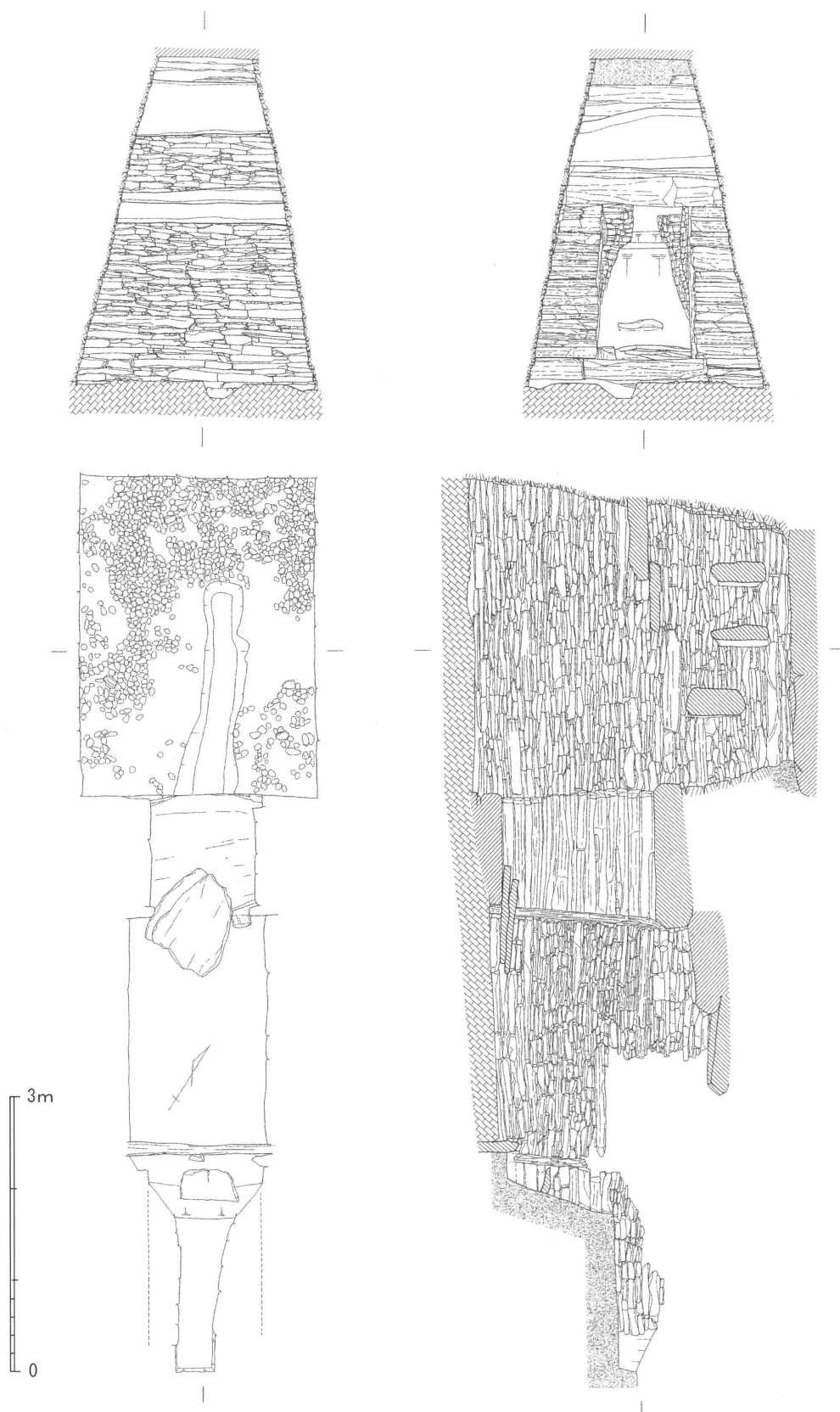
第2埋葬施設：南側に位置する竪穴式石室で、第1主体部に比べ乱掘による破壊が著しく、石室西側約1/3を残し欠失していた。石室規模は、残存する西側小口幅0.84m、残存壁長2.94mを測る。残存する壁体高は第1主体部とほぼ同じである。

16号墳

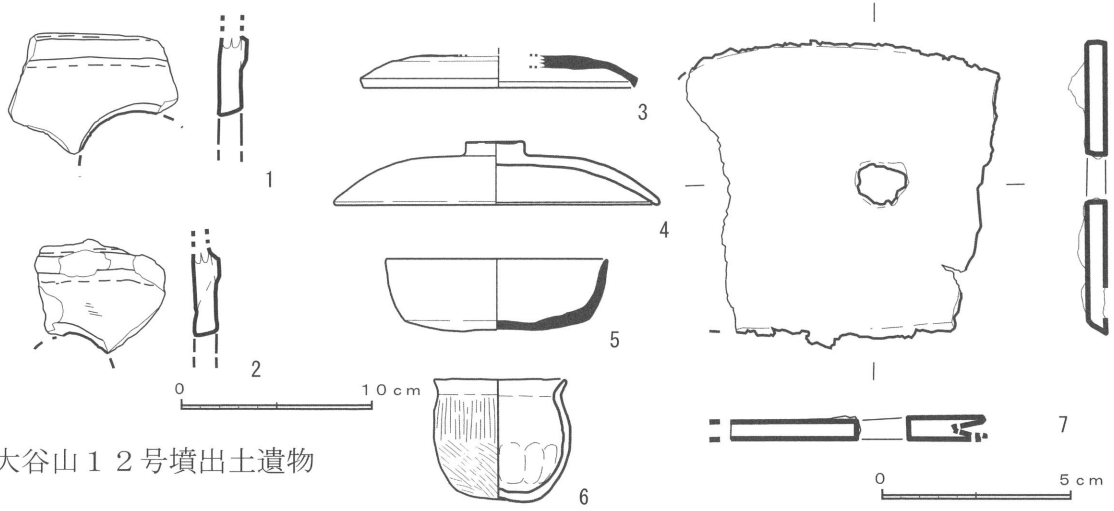
墳丘 大谷山20号墳から北東に延びた支尾根の最高所に築造された径20m、墳丘高3.6mの円墳で、17号墳の南西20m、標高約76mに位置する。今回、確認調査を行った古墳中最大規模の円墳である。

埋葬施設 墳丘の中心部に構築した、結晶片岩を使用した横穴式石室を埋葬施設とする。横穴式石室は、玄室・玄室前道・羨道で構成され、南東方向に開口する全長7.61mの両袖式である。玄室は基底部で幅2.60m、奥行3.56m、高さ3.62m、玄室前道は幅1.31m、長さ1.30m、高さ1.48m、羨道は幅1.40m、長さ2.75mを測る。玄室には3本の垂直梁が架構され、奥壁には三方の壁体に組み込んだ石棚を持つ。この石棚には、さらに左右の壁体に組み込んだもう1枚の石が前方に迫りだすように重ねて積まれており、この2枚の石で棚を構成する。玄室床面には玉石が前面に敷き詰められている。排水溝は、玄室中央石室主軸方向に1条設けられている。



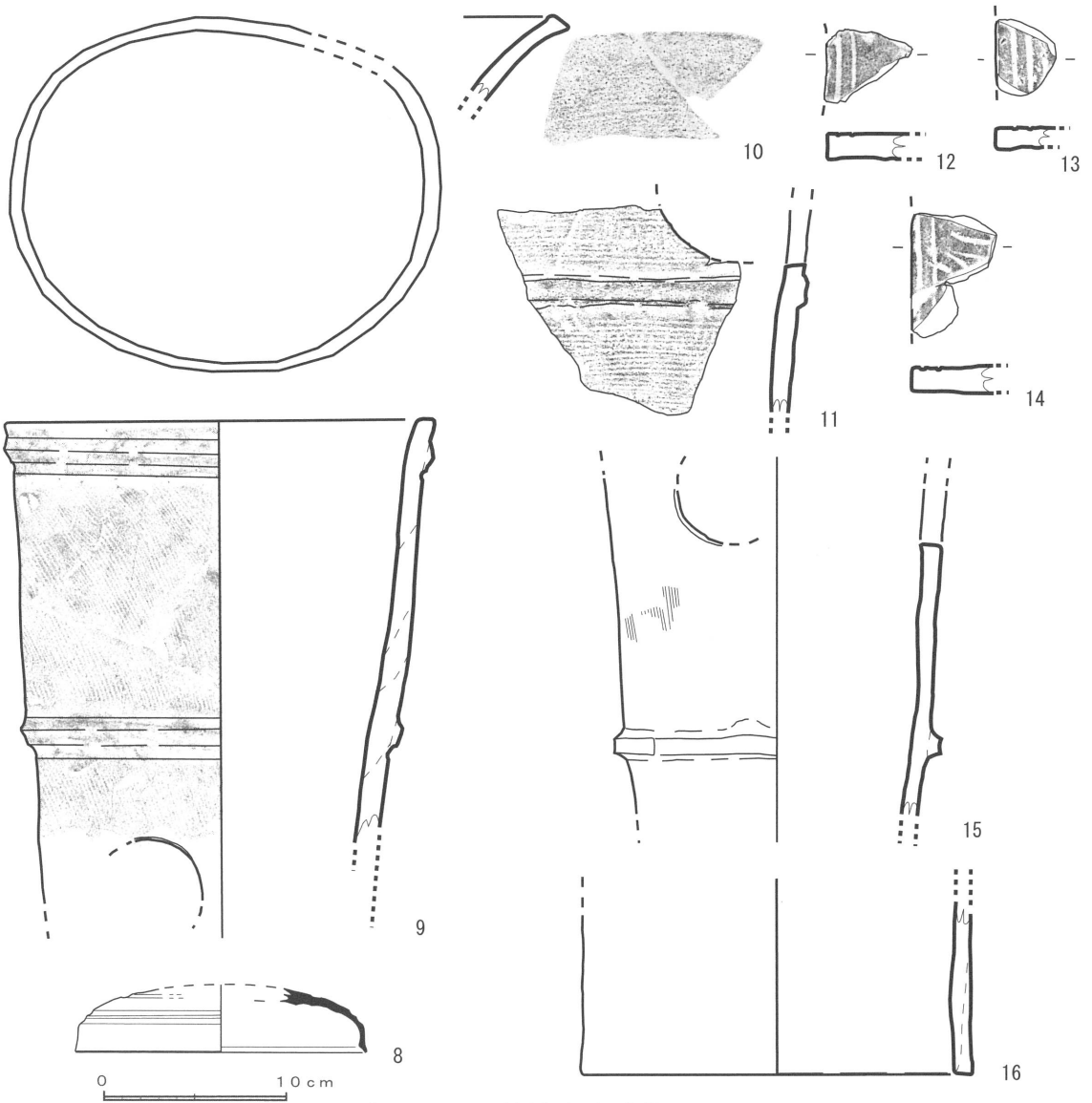


大谷山16号墳石室実測図 (S=1/70)

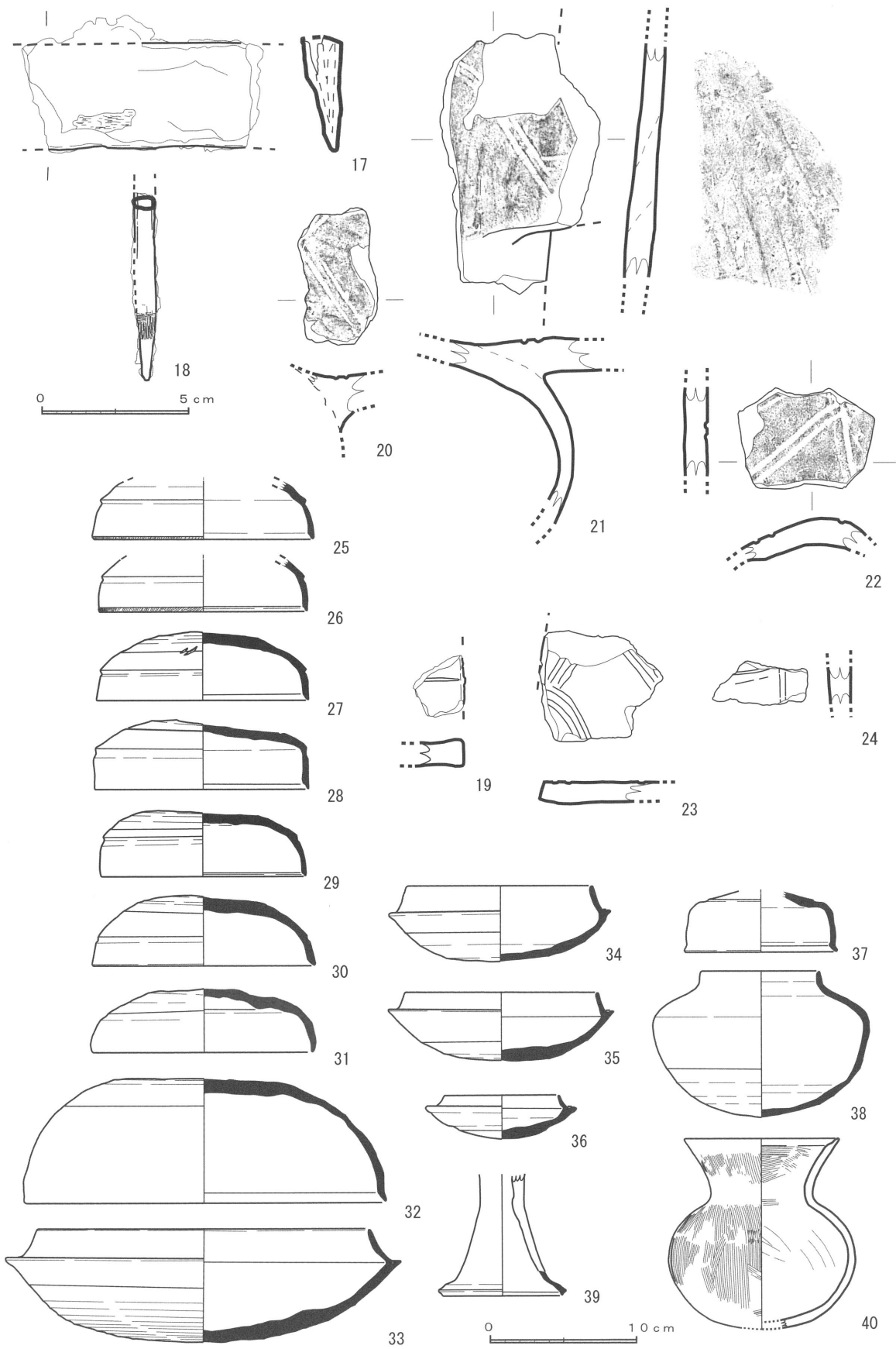


大谷山 1 2 号墳出土遺物

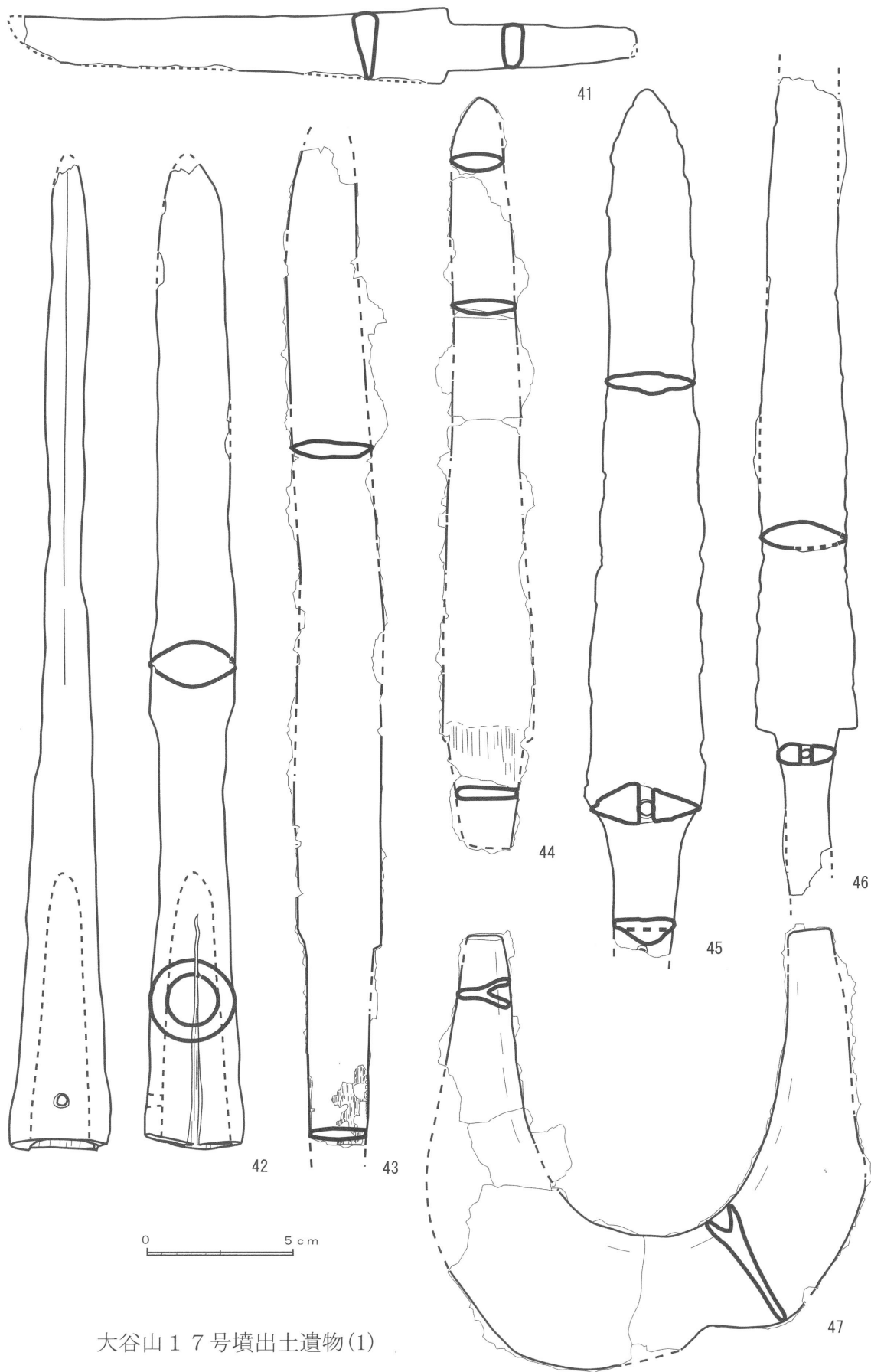
大谷山 1 3 号墳出土遺物



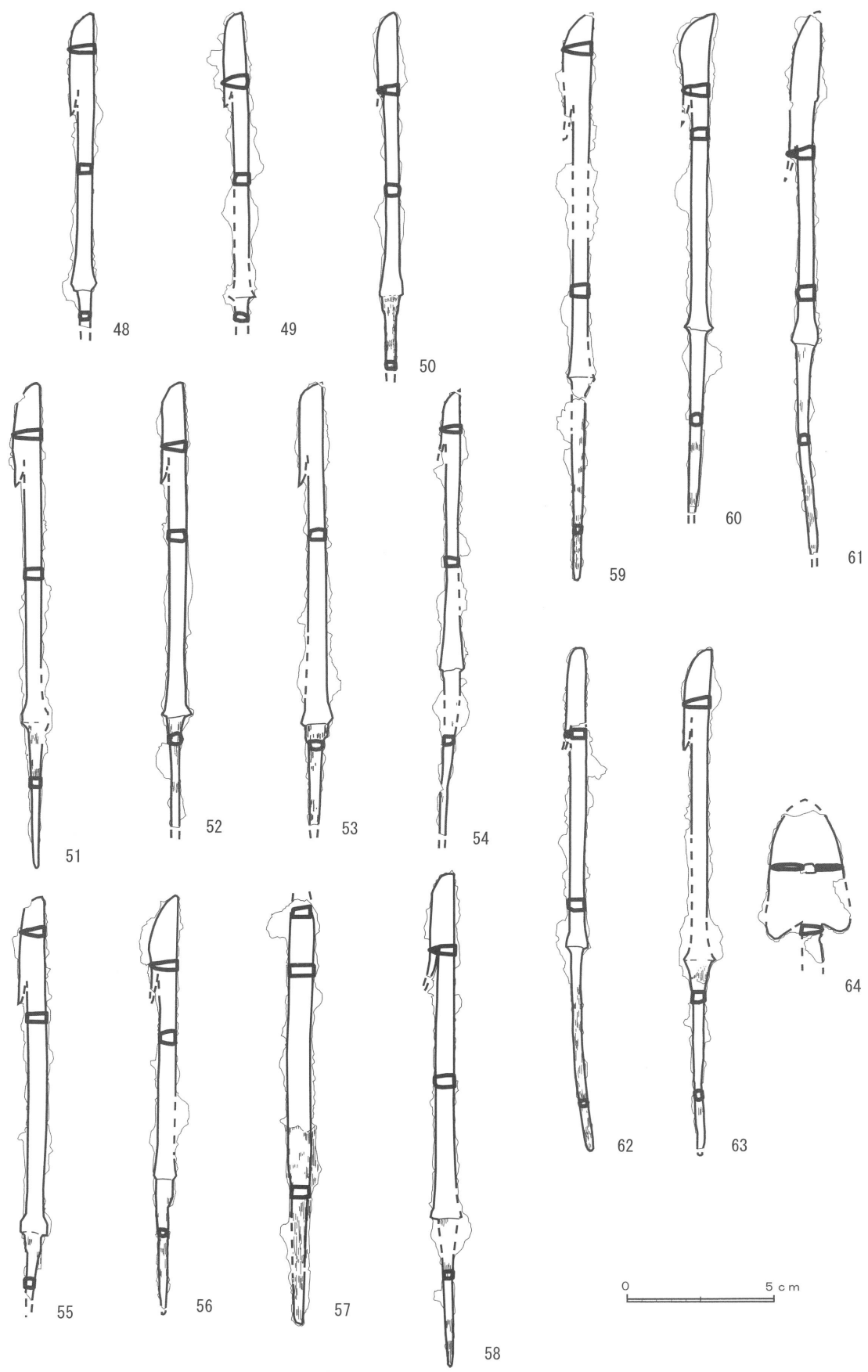
大谷山 1 5 号墳出土遺物



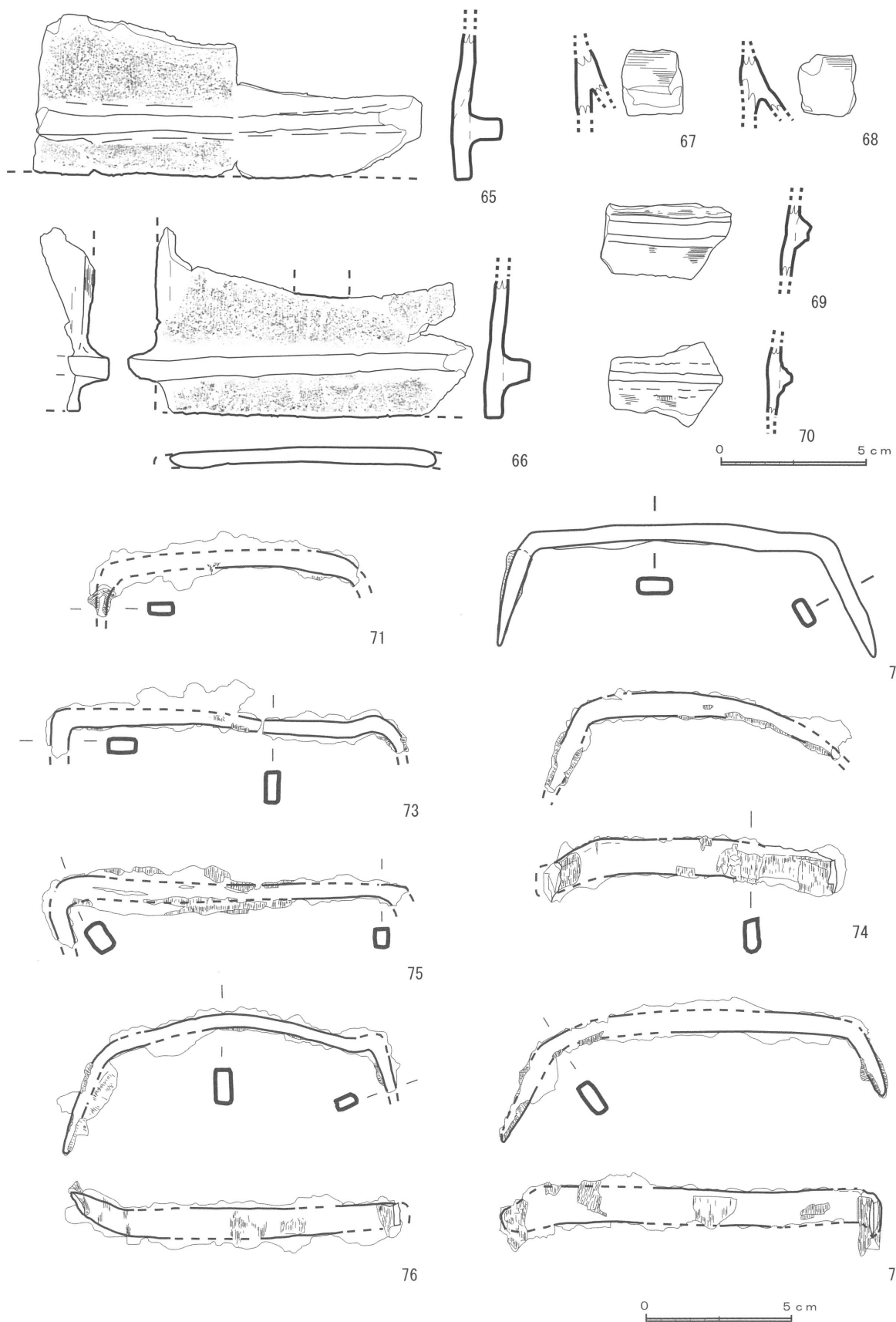
大谷山 1 4 号墳出土遺物



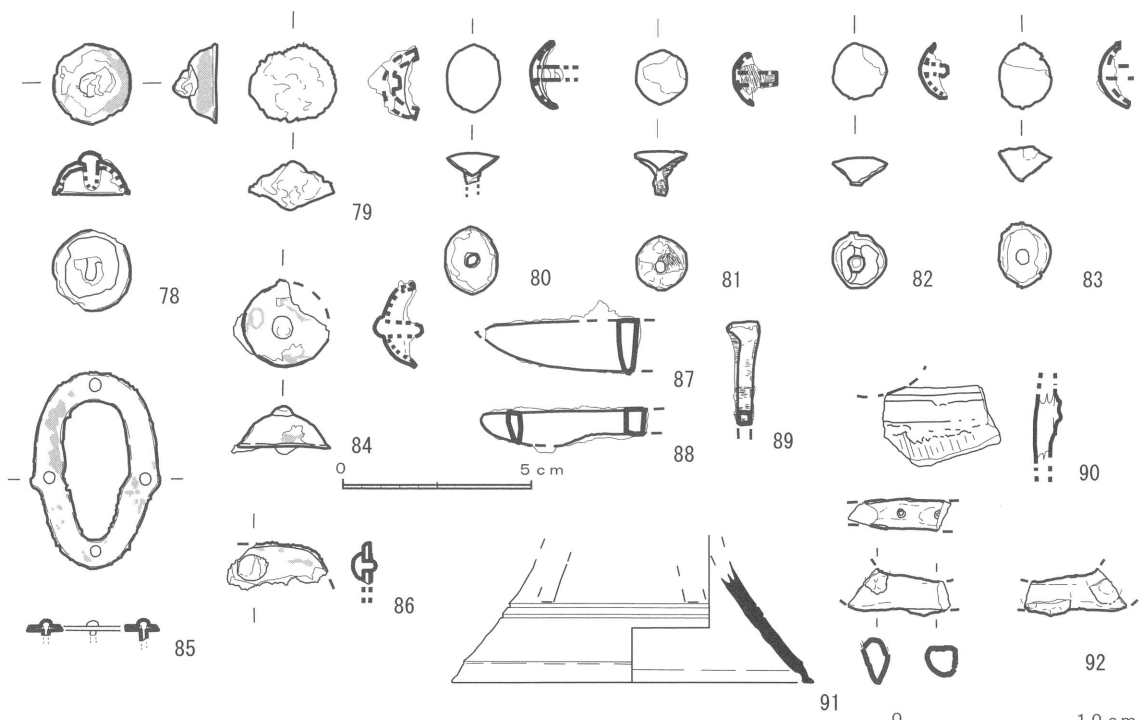
大谷山17号墳出土遺物(1)



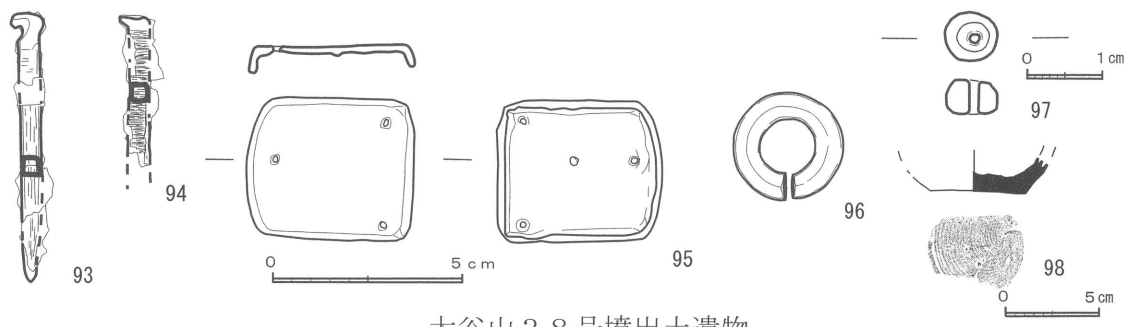
大谷山17号墳出土遺物(2)



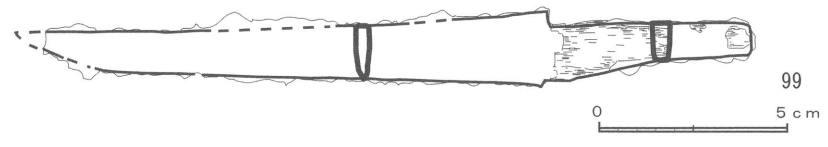
大谷山17号墳出土遺物(3)



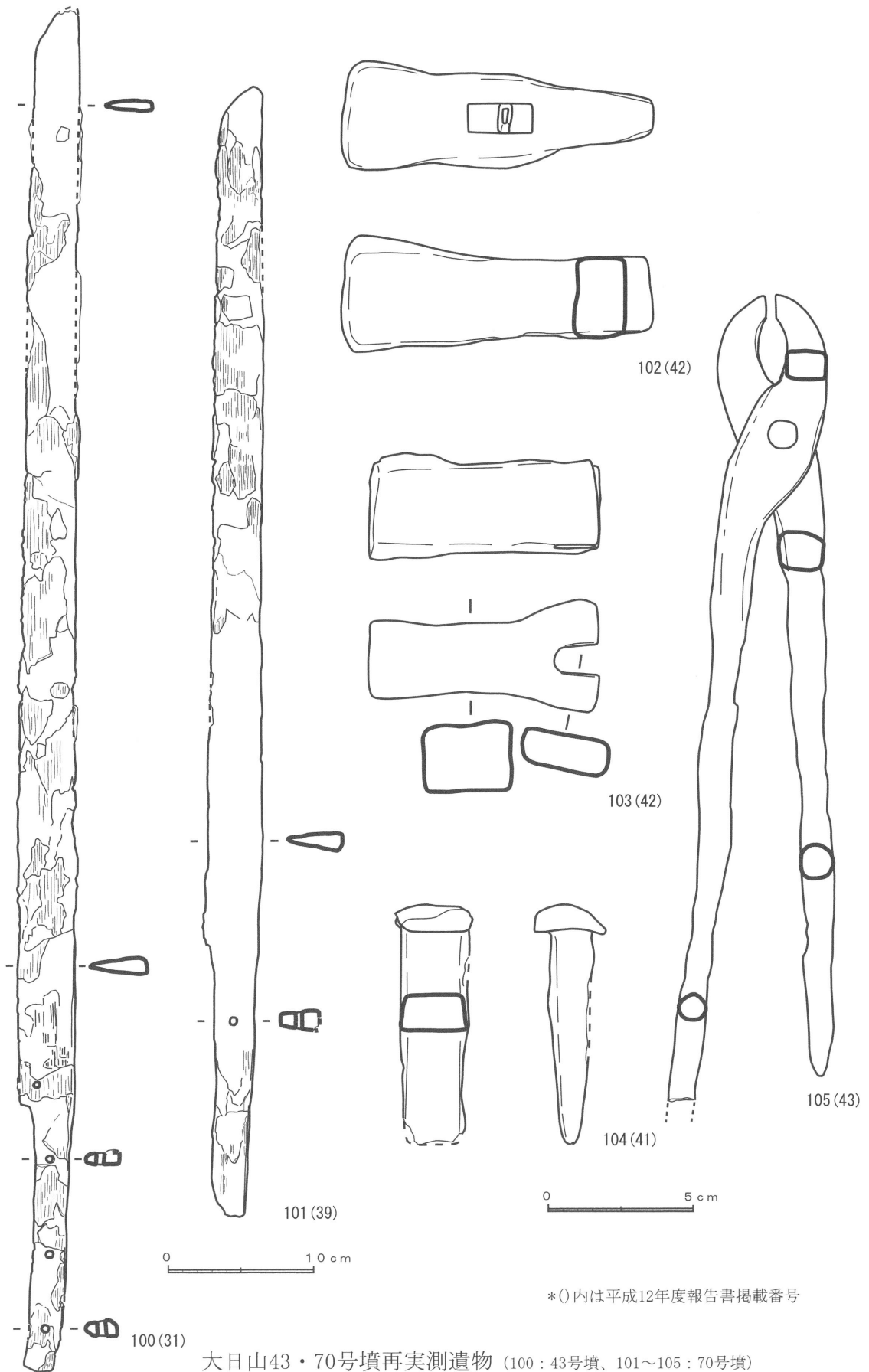
大谷山16号墳出土遺物



大谷山38号墳出土遺物



大谷山古墳群出土遺物



大谷山・大日山古墳群出土遺物観察表

図	遺物	出土地点	特徴・量量	調整	胎土 (白・白色胎、透・透明胎、赤・赤色胎、黒・黒色胎、結・結晶片岩、雲・雲母)	残存率	登録
図1	円筒埴輪	大谷山12号墳	透孔あり、色調:5YR6/6橙色(断面5YR6/2灰褐色)、上下不明	タガ:貼付後横ナデか(台形)、裏面:指オサエ	4mm赤・透・結・曇やや多い 2mm以下白・黒少ない	-	2
図2	円筒埴輪	大谷山12号墳	透孔あり、色調:10YR6/4にふい黄褐色(断面10YR5/2灰黄褐色)、上下不明	タガ:断続ナデか(台形)、外面:横ハケ?、裏面:指オサエ	5mm結・赤やや多い 1mm白・透・曇少ない	-	2
図3	須恵器杯蓋	大谷山13号墳	口径14.3、MT21か	内外面:横ナデ、外面:不定方向ナデあり	2mm白少量	1/7	3
図4	土師器蓋	大谷山13号墳	口径16.9、器高3.4、口縁内面沈線状	外面:風化大、内面:横ナデ	1~2mm白少量	1/4	6
図5	須恵器杯身	大谷山13号墳	口径11.7、器高3.8	内外面:横ナデ、底部外面:指オサエあり・削りなし	5mm白多い	1/3	5
図6	土師器小形壺	大谷山13号墳 玄室右側壁排水溝蓋石上?	実観報告実測図	外面:ハケ、内面:ナデ・指オサエ		-	177
図7	不明鉄製品	大谷山13号墳	孔あり、後世遺物の可能性あり			-	7
図8	須恵器杯蓋	大谷山15号墳	口径:16.0、外面に沈線状の粘土紐痕残る、口縁端部わずかに面あり	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り	4mm白・1mm黒やや多い	1/4	21・164・172
図9	円筒埴輪	大谷山15号墳 夷道	やや楕円状(長軸23.9・短軸19.5)、透孔あり、色調:10YR7/6明黄褐色(断面10YR6/2灰黄褐色)	外面:斜めハケ1次調整(5~6本/cm)、タガ:横ナデ(断続?)(台形~若干M字状)、内面:斜めナデ	5mm白、3mm結・透やや多い、 2mm赤少量	-	168
図10	顔形埴輪	大谷山15号墳	色調:7.5YR6/8橙色、図11・図16と同一個体の可能性あり	外面:横ハケ(4本/cm)、内面:不明瞭	3mm白多い、1~2mm赤・黒・透少ない、 1mm結ごくわずか	-	165・170
図11	円筒埴輪	大谷山15号墳	透孔あり、色調:7.5YR6/8橙色、図11・図16と同一個体の可能性あり	外面:横ハケ(4本/cm)(一部縦ハケ残る)、タガ:貼付後横ナデ(若干M字状)、内面:横~斜め方向の板ナデ? (工具痕あり)	1~2mm白・赤やや多い、1mm黒・透少ない、 1mm結ごくわずか	-	171
図12	盾形埴輪	大谷山15号墳	2条の線刻、色調:5Y6/6橙色(断面5YR7/6橙色)、図13・14と同一個体か、上下不明	調整不明瞭	2mm白・結・赤やや多い、1mm以下曇	-	170
図13	盾形埴輪	大谷山15号墳	2条の線刻、色調:5Y6/6橙色(断面5YR7/6橙色)、図12・14と同一個体か、上下不明	調整不明瞭	2mm白・結・赤やや多い、1mm以下曇	-	170
図14	盾形埴輪	大谷山15号墳 夷道	6条の線刻、色調:5Y6/6橙色(断面5YR7/6橙色)、図13・16と同一個体か、上下不明	調整不明瞭	2mm白・結・赤やや多い、1mm以下曇	-	165・168
図15	円筒埴輪	大谷山15号墳	透孔あり、色調:5YR5/6明赤褐色(断面5YR5/4にふい褐色)	外面:縦~斜めハケ(6本/cm)、タガ:貼付後横ナデ(一箇所板オサエ?)(台形~若干M字状)、内面:指オサエ	1.5mm結あり(多い)、3mm赤・白・透やや多い、 1mm以下曇・黒わずか	-	165・172
図16	円筒埴輪	大谷山15号墳	色調:7.5YR6/8橙色(断面一部10YR5/3にふい黄褐色)、図10・11と同一個体の可能性あり	調整不明瞭	3mm白・赤やや多い、1mm黒・透わずか、 3mm結ごくわずか	-	165
図17	鉄刀か	大谷山14号墳	一部木質付着			-	130
図18	鉄鏃	大谷山14号墳 北西コーナー	縦方向と横方向の木質残存、頭部欠損			1/2	127
図19	盾形埴輪	大谷山14号墳	1条の線刻、色調:5YR6/6橙色(断面10YR5/1褐灰色)、上下不明、図20・21と同一個体の可能性あり	調整不明瞭(ナデか?)	5mm白やや多い、1mm赤やや多い、 3mm結少し、1mm以下曇わずか	-	144
図20	盾形埴輪	大谷山14号墳	3条の線刻、色調:5YR6/6橙色(断面10YR5/1褐灰色)、上下不明、図19・21と同一個体の可能性あり	外面:横~斜め方向ナデ、裏面:円筒部への貼付痕跡(突起状の痕跡3あり)	5mm結・白やや多い、3mm赤やや多い、 1mm以下曇・黒わずか	-	144
図21	盾形埴輪	大谷山14号墳	3条の線刻、色調:5YR6/6橙色(断面10YR5/1褐灰色)、図19・20と同一個体の可能性あり	肩部外面:ナデか、円筒部外面:斜め方向板ナデか、内面(肩部・円筒部):指オサエ	5mm結やや多い、2~3mm白・赤やや多い、 1mm以下曇・黒わずか	-	149
図22	家形埴輪(or盾形)	大谷山14号墳	4条の線刻(+細い線刻?2条あり)、色調:5YR6/6橙色(断面10YR5/1褐灰色)、図19~21と胎土類似、上下不明	外面:不明瞭、内面:指オサエ(斜め方向ナデ?)	5mm結・3mm白・2mm赤やや多い、 1mm以下曇・黒わずか	-	147
図23	盾形埴輪か	大谷山14号墳	5条の線刻、色調:5YR6/6橙色(断面5YR5/2灰褐色)、図24と同一個体か、上下不明	調整不明瞭	4mm結・3mm透・白やや多い、 2mm赤少し、1mm以下曇わずか	-	152
図24	盾形埴輪か	大谷山14号墳	2条の線刻(+細い線刻1条?あり)、色調:5YR6/6橙色(断面7.5YR5/2灰褐色)、図23と同一個体か、上下不明	調整不明瞭	4mm結・3mm透・白やや多い、 2mm赤少し、1mm以下曇わずか	-	152
図25	須恵器杯蓋	大谷山14号墳? 夷道入口	口径14.9、天井部境界明瞭、端部にやや面、(MT15~TK10)	内外面:横ナデ、外面:削りか?、外面端部:斜め方向のハケ工具の刻み目?あり	2mm白少量	1/3	51
図26	須恵器杯蓋	大谷山14号墳	口径14.1、端部に面、天井部境界明瞭、天井部に赤色顔料、(MT15~TK10)	内外面:横ナデ、外面端部:斜め方向のハケ工具の刻み目?あり	3mm白少量	1/2	13
図27	須恵器杯蓋	大谷山14号墳? 北か中央部下	口径14.4、器高4.7、天井部境界明瞭、端部丸み、頂部付近に赤色顔料、外面に短い2条の線刻、(MT15~TK10)	内外面:横ナデ・同心円文圧痕?、外面:回転へり削り	4mm白・黒やや多い	3/4	53
図28	須恵器杯蓋	大谷山14号墳	口径14.8、器高4.8、大部分削り、端部に沈線状、天井部境界明瞭、(MT15~TK10)	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り、内面:ナデわずか(粘土紐痕跡残る)	1mm白少量	完形	17
図29	須恵器杯蓋	大谷山14号墳? 石室中央部	口径13.8、器高13.8、端部わずかに面、天井部境界突出少ないが明瞭、(TK10)	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り・自然袖付着、内面:同心円文圧痕	6mm黒・白・透	3/4	46
図30	須恵器杯蓋	大谷山14号墳	口径15.1、器高4.8、天井部境界凹線状、端部丸い、外面に赤色顔料か、(TK43)	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り(板状工具で定めらるかに仕上げか)、内面:同心円文圧痕	3mm白	1/3	12
図31	須恵器杯蓋	大谷山14号墳? 石室中央部	口径14.8、器高4.3、端部先端丸い、天井部境界ならぬら、内面にかすかな圧痕、x状のへり記号、(TK43)	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り(やや雑)	2mm白	ほぼ完形	52
図32	須恵器杯蓋大形	大谷山14号墳	口径24.7、器高8.5、非常に大きい、天井部境界なし、端部やや面あり、(TK43?)	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り		4/5	16
図33	須恵器杯身大形	大谷山14号墳	口径26.0、器高7.8、非常に大きい、立ち上がりやや長く端部丸い、削り多い、へり記号?、(TK43?)	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り、内面:同心円文圧痕		ほぼ完形	15
図34	須恵器杯身	大谷山14号墳? 石室奥中央か下	口径12.6、器高5.2、端部丸い、比較的長い立ち上がり、(TK10)	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り、内面:同心円文圧痕	3mm白多い	1/2	48
図35	須恵器杯身	大谷山14号墳?	口径13.1、器高4.7、外面赤色顔料、立ち上がり短く端部丸い、(TK43)	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り、内面:同心円文圧痕か・指オサエ	5mm白多い	ほぼ完形	47
図36	須恵器杯身小形	大谷山14号墳?	口径8.0、器高3.0、(TK209~TK217)	内外面:横ナデ、外面:削りか?(風化激しい)、内面:指オサエ	2mm白	4/5	50
図37	須恵器壺類蓋	大谷山14号墳	口径10.4、端部に線、体部、天井部境界明瞭、図38の蓋?	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り、内面:同心円文圧痕	4mm白少量	3/4	11
図38	須恵器短頭壺	大谷山14号墳? 石室内	口径8.1、器高10.0、口縁端部丸い、頸頭部ならぬら	内外面:横ナデ、外面:回転へり削り、底部内面:不定方向ナデ	2mm白少量	ほぼ完形	44
図39	須恵器高杯	大谷山14号墳	脚部径8.2、長脚、透かし、裾やや広がり、(MT15~TK10)	内外面:横ナデ	2mm白少量	1/6	10
図40	土師器小壺	大谷山14号墳?	口径:10.6、器高13.0、外面若干煤残る、内面一部削り	外面:縦ハケ、頭部外面:横ナデ、頭部内面:横ハケ、内面:削り	1mm白・赤少量	1/2	45
図41	鉄小刀	大谷山17号墳?	保存処理済み、残存長さ21.3、幅2.6			ほぼ完形	183
図42	鉄鏃	大谷山17号墳?	保存処理済み、目釘穴1、内面木質多く残る、新しい割れあり、残存長さ34.0			完形	185
図43	鉄短剣	大谷山17号墳西	柄部に木質残存、柄部側面に直交方向の刻み状痕跡、切先先端やや欠損、残存長さ34.3、幅3.0			ほぼ完形	120
図44	鉄小刀	大谷山17号墳西	柄部一部に木質残存、長さ25.9、幅3.1			ほぼ完形	121
図45	鉄剣	大谷山17号墳?	保存処理済み、基部一部欠損、目釘穴2、残存長さ29.8、幅4.1			ほぼ完形	181
図46	鉄剣	大谷山17号墳?	保存処理済み、切先基部一部欠損、目釘穴1、残存長さ28.2、幅3.5			ほぼ完形	182
図47	鉄製U字形鋤先	大谷山17号墳西	平面形若干凹む部分あり、長さ15.1			ほぼ完形	122
図48	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部欠損、基部に木質			4/5	57
図49	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部欠損、基部に木質?			4/5	58
図50	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部一部欠損、基部に木質			4/5	63
図51	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部に木質			完形	94
図52	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部一部欠損、基部に木質			9/10	92
図53	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部一部欠損、基部に木質			9/10	69
図54	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部一部欠損、基部に木質?			9/10	62
図55	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部一部欠損、基部に木質?			9/10	79
図56	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部に木質			ほぼ完形	54
図57	鉄鏃かやしがんな	大谷山17号墳西 石室奥東側壁か	先端部欠損、先端部若干細くなる、基部に木質、他の長頸鏃に比べ幅広、くびれ部不明瞭で木質範囲広い			4/5	99・117
図58	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部に木質			ほぼ完形	93
図59	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部に木質			ほぼ完形	70
図60	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部一部欠損、基部に木質			ほぼ完形	65
図61	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部一部欠損、基部に木質			ほぼ完形	56
図62	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部に木質			ほぼ完形	85
図63	鉄鏃	大谷山17号墳	長頸鏃、基部に木質			ほぼ完形	64
図64	鉄鏃	大谷山17号墳西	平根式鏃、基部一部欠損、中央部に3~4mmの孔あり			9/10	116

大谷山・大日山古墳群出土遺物観察表

図65	冢形埴輪	大谷山17号墳西	冢形埴輪の基部、図66に比べて直線的なので平部か？、図66(67・68)と同一個体か、色調:7.5YR7/6橙色	外面:縦ハケ(6~7本/cm)、内面:不明瞭、タガ:ナデ	5mm赤・白多い、2mm透やや多い、2mm黒少量	-	163
図66	冢形埴輪	大谷山17号墳西	冢形埴輪の基部、方形の透孔あり？、図65に比べて若干湾曲するので妻部か？、図65(67・69)と同一個体か、色調:7.5YR7/6橙色	外面:縦ハケ(6~7本/cm)、内面:不明瞭、タガ:ナデ	5mm赤・白多い、2mm透やや多い、2mm黒少量	-	154・162
図67	冢形埴輪	大谷山17号墳西	冢形埴輪の屋根部、図68(65・66)と同一個体か、色調:7.5YR7/6橙色	外面:横ハケ(6~7本/cm)、内面:不明瞭	5mm赤・白多い、2mm透やや多い、2mm黒少量	-	163
図68	冢形埴輪	大谷山17号墳西	冢形埴輪の屋根部、図67(65・66)と同一個体か、色調:7.5YR7/6橙色	外面:横ハケ(6~7本/cm)、内面:不明瞭	5mm赤・白多い、2mm透やや多い、2mm黒少量	-	162
図69	円筒埴輪	大谷山17号墳西	色調:5YR5/6明赤褐色(断面10YR4/2灰黄褐色)	外面:横ハケ(11~12本/cm)、タガ:貼付後強い横ナデ(M字状)、内面:指オサエ	1mm以下白・透やや多い、1mm以下赤・黒少量	-	161
図70	円筒埴輪	大谷山17号墳東	色調:7.5YR7/8黄褐色	外面:横ハケ(8~9本)(一部縦ハケ残存)、タガ:貼付後強い横ナデ(上下とも接ができる、丸み)、内面:指オサエ	1mm以下白・透やや多い、1mm以下黒・赤・黒少量、3mmチャート少量	-	160
図71	鉄鏝	大谷山17号墳西	内面を中心に木質残存			3/4	116
図72	鉄鏝	大谷山17号墳？	保存処理済み、木質残存			完形	184
図73	鉄鏝	大谷山17号墳東	登録95・98は接合しないがおそらく同一個体、内面に木質残存			3/4	96・98
図74	鉄鏝	大谷山17号墳西	内面を中心に木質残存			3/4	120
図75	鉄鏝	大谷山17号墳西N部	内面・外面に木質残存			3/4	134
図76	鉄鏝	大谷山17号墳西	内面を中心に木質残存			9/10	100
図77	鉄鏝	大谷山17号墳西9~1石間	内面を中心に木質残存			完形	129
図78	辻金具	大谷山16号墳	鉄地金銅装、径2.0、高1.0、一部金箔残存			ほぼ完形	124
図79	鉄製鉄金具	大谷山16号墳	全体が黒錆で覆われる、2.3×2.1、高1.3			ほぼ完形	132
図80	鉄製鉄金具	大谷山16号墳	裏面~鉄部分に木質残存、1.8×1.4、残存高0.8			ほぼ完形	41
図81	鉄製鉄金具	大谷山16号墳	裏面~鉄部分に木質残存、径0.9、高1.2			完形	128
図82	鉄製鉄金具	大谷山16号墳	径1.5、高0.75			完形	126
図83	鉄製鉄金具	大谷山16号墳	1.75×1.35、高0.8			ほぼ完形	132
図84	辻金具	大谷山16号墳	鉄地金銅装、径2.2、高1.1、一部金箔残存、裏面に別の鉄材付着か			ほぼ完形	125
図85	鞘口金具	大谷山16号墳	鉄地金銅装、一部金箔残存、鉄4つ(鉄にも金箔あり)、裏面は金箔なし(銅張)、5.2×3.4			完形	41
図86	鉄地金銅装金具	大谷山16号墳	金箔一部残存、鉄1つ(鉄にも金箔あり)			-	32
図87	鉄製刀子	大谷山16号墳	切先のみ			1/5	133
図88	鉄鏝	大谷山16号墳	刃部のみ、長頸鏝			1/5	133
図89	鉄釘	大谷山16号墳	基部欠損、木質残存(全体的に横方向の木目)、頭部折り曲げ			1/3	138
図90	円筒埴輪	大谷山16号墳	透孔あり、色調:5YR5/6明赤褐色(断面7.5YR6/6橙色)	外面:縦~斜めハケ(4~5本/cm)、タガ:貼付後横ナデ(M字状)、粘土はみだしあり、内面:指オサエか	1mm白・透多い、2mm赤やや多い、1mm以下黒少量	-	36
図91	須恵器器台	大谷山16号墳	脚部、方形透かL2、沈線2条	内外面:横ナデ	5mm透・白やや多い、1mm黒少量	-	30・31・33・135
図92	装飾付須恵器	大谷山16号墳	装飾器物、動物？竹管文2、側面に貼付3箇所	指オサエ残る		-	135
図93	鉄釘	大谷山38号墳	木質残存(下半部縦方向、上半部横方向)、頭部折り曲げ			完形	123
図94	鉄釘	大谷山38号墳	木質残存(下半部一部縦方向、上半部横方向)、頭部折り曲げ			2/3	123
図95	帯金具	大谷山38号墳玄室前道？	孔3つ、4.4×3.8、実績報告実測図			完形	178
図96	金環	大谷山38号墳玄室しきみ石	径2.9、金箔良好に残存、実績報告実測図			完形	179
図97	方ラヌ製小玉	大谷山38号墳？	0.7×0.65×高0.45、濃紺色			完形	43
図98	須恵器小壺類	大谷山38号墳	底部、内面に自然釉付着、底部内面粘土紐痕残る、色調:2.5Y6/3(にふい黄色)	底部:回転系切痕、外面:横ナデ(一部へら削り?)、内面:横ナデ	1mm以下黒多い、1mm白やや多い、1mm結わすか	-	22
図99	鉄製刀子	大谷山ラベルなし	先端一部欠損、残存長18.8、幅2.0、柄部木質残存、全体的に反り返る			ほぼ完形	131
図100	鉄直刀	大日山43号墳玄室直上	保存処理の結果、県教委2000『岩橋千塚周辺古墳群』図14-31の目釘穴が1箇所としていたものが4箇所あることが判明し再実測、表裏面とも全体的に木質付着、長94.0			完形	
図101	鉄直刀	大日山70号墳	保存処理の結果、県教委2000『岩橋千塚周辺古墳群』図10-39の目釘穴の位置が違うことが判明し再実測、表裏面とも全体的に木質付着、目釘穴1箇所、長78.0			完形	
図102	鉄鏝	大日山70号墳	保存処理の結果、県教委2000『岩橋千塚周辺古墳群』図10-42が2つの別個体と判明、図の左側を再実測、中央に柄穴(2.2×1.0)があり稜が遺存、10.8×3.8×厚4.0			完形	
図103	不明鉄製品	大日山70号墳	保存処理の結果、県教委2000『岩橋千塚周辺古墳群』図10-42が2つの別個体と判明、図の右側を再実測、二股の部分は非常に滑らかで他部材の装着・接触部と考えられる、8.0×3.8×厚3.8			完形か	
図104	鉄鏝	大日山70号墳	保存処理済、県教委2000『岩橋千塚周辺古墳群』図10-41、8.3×2.7			完形	
図105	鉄鉗	大日山70号墳	保存処理の結果、県教委2000『岩橋千塚周辺古墳群』図10-43の組み合わせが左右逆であることが判明し再実測			完形	

大谷山古墳群出土遺物台帳

登録	大谷山〇号墳	ラベル記入事項	日付	遺物内訳	備考	図版遺物
1	12号墳	仮1号墳	平成7年2/21	埴輪1(盾形)、須恵器1(甕)		
2	12号墳	仮1号墳		埴輪14		
3	13号墳	仮2号墳	平成7年2/22	埴輪3、須恵器2(杯蓋・杯身)		図1・図2(円筒埴輪)
4	13号墳	仮2号墳	平成7年3/1	須恵器2(杯・瓶類1)、土師器2(皿)		図3(須恵器杯蓋)
5	13号墳	仮2号墳	平成7年3/8	須恵器1(杯身)		図5(須恵器杯身)
6	13号墳	仮2号墳	平成7年3/8	土師器1(蓋)	登録9と接合	図4(土師器蓋)
7	13号墳	仮2号墳	平成7年3/8	鉄製品1(不明)		図7(不明鉄製品)
8	13号墳	仮2号墳	平成7年3/8	埴輪2、土師器6(皿類)、鉄片2		
9	13号墳	仮2号墳	平成7年3/13		登録6と接合	
177	13号墳	玄室右側壁排水溝蓋石上？		土師器1(小形壺)	実績報告実測図	図6(土師器小形壺)
10	14号墳	仮3号墳	平成7年3/7	須恵器3(高杯脚1、蓋破片2)		図39(須恵器高杯)
11	14号墳	仮3号墳	平成7年3/7	須恵器1(壺類蓋)		図37(須恵器壺類蓋)
12	14号墳	仮3号墳	平成7年3/7	須恵器1(杯蓋)		図30(須恵器杯蓋)
13	14号墳	仮3号墳	平成7年3/7	須恵器2(杯蓋)		図26(須恵器杯蓋)
14	14号墳	仮3号墳	平成7年3/7	須恵器5(壺壺類2、杯2、小壺orはそう口縁1)、土師器2		
15	14号墳	仮3号墳、3/6・7・8・9・14	平成7年3/13	須恵器1(大形杯身)		図33(須恵器大形杯身)
16	14号墳	仮3号墳、3/6・7・8・9・13	平成7年3/14	須恵器1(大形杯蓋)		図32(須恵器大形杯蓋)
17	14号墳	仮3号墳		須恵器1(杯蓋)		図28(須恵器杯蓋)
127	14号墳	仮3号墳、北西コーナー	平成7年3/7	鉄鏝1		図18(鉄鏝)
130	14号墳	仮3号墳	平成7年3/13	鉄刀か1		図17(鉄刀)
144	14号墳	仮3号墳	平成7年3/2	埴輪13(形象含む)		図20・図19(盾形埴輪)
145	14号墳	仮3号墳	平成7年3/8	埴輪5		
146	14号墳	仮3号墳	平成7年3/3	須恵器1(甕)、土師器1、埴輪22		

大谷山古墳群出土遺物台帳

147	14号墳	仮3号墳	平成7年4/13	埴輪17(形象含む)		図22(盾形or家形埴輪)
148	14号墳	仮3号墳、羨道			登録148と同一	
149	14号墳	仮3号墳	平成7年3/17	形象埴輪1(盾形)		図21(盾形埴輪)
150	14号墳	仮3号墳	平成7年2/28	埴輪2		
151	14号墳	仮3号墳	平成7年2/20	埴輪2、須恵器1(甕)		
152	14号墳	仮3号墳		形象埴輪2(盾形埴輪か)、須恵器1(甕)		図23・図24(盾形埴輪か)
180	14号墳	玄室?		水晶製勾玉1	実績報告記述	
44	14号墳?	石室内、鉛筆6・7・8・9(3/6・7・8・9か)	平成7年3/9	須恵器1(短頸壺)		図38(須恵器短頸壺)
45	14号墳?	鉛筆7・8・9(3/7・8・9か)	平成7年3/6	土師器1(小壺)		図40(土師器小壺)
46	14号墳?	石室中央部、鉛筆7・8・9・13・14(3/7・8・9・13・14か)	平成7年3/6	須恵器1(杯蓋)		図29(須恵器杯蓋)
47	14号墳?	石室中央部、鉛筆7・9(3/7・9か)	平成7年3/6	須恵器1(杯身)		図35(須恵器杯身)
48	14号墳?	石室奥中央か ^下 鉛筆7・9・14(3/7・9・14か)	平成7年3/6	須恵器1(杯身)		図34(須恵器杯身)
50	14号墳?	石室奥中央か ^下 鉛筆8(3/8か)	平成7年3/6	須恵器1(小形杯身)		図36(須恵器小形杯身)
51	14号墳?	羨道入口下	平成7年3/6	須恵器1(杯蓋)		図25(須恵器杯蓋)
52	14号墳?	石室中央部、3/7・13・14	平成7年3/6	須恵器1(杯蓋)		図31(須恵器杯蓋)
53	14号墳?	北か ^下 中央部下、3/6・7・14		須恵器1(杯蓋)		図27(須恵器杯蓋)
18	15号墳	仮4号墳	平成7年3/3	埴輪7		
19	15号墳	仮4号墳	平成7年3/6	土師器6(うち1埴輪か)		
20	15号墳	仮4号墳	平成7年3/9	埴輪6		
21	15号墳	仮4号墳	平成7年3/13	須恵器1(杯蓋)		図8(須恵器杯)
164	15号墳	仮4号墳	平成7年2/24	埴輪26(形象含む)、土師器2、須恵器3(杯蓋、同一個体)	須恵器杯登録172と接合	図8(須恵器杯)
165	15号墳	仮4号墳	平成7年3/8	埴輪22(朝顔形・盾形埴輪含む)	円筒埴輪登録172と接合 朝顔形登録170と接合	図14(盾形埴輪) 図15・16(円筒埴輪) 図10(朝顔形埴輪)
166	15号墳	仮4号墳	平成7年2/23	埴輪40		
167	15号墳	仮4号墳		埴輪17		
168	15号墳	仮4号墳 羨道		埴輪65(盾形埴輪1)、須恵器1(甕)		図9(円筒埴輪) 図14(盾形埴輪)
169	15号墳	仮4号墳	平成7年2/21	埴輪10		
170	15号墳	仮4号墳	平成7年3/7	埴輪73(形象含む、盾形・人物?)、須恵器2(甕)	朝顔形登録165と接合	図12・図13(盾形埴輪) 図10(朝顔形埴輪)
171	15号墳	仮4号墳	平成7年2/27	埴輪24		図11(円筒埴輪)
172	15号墳	仮4号墳	平成7年2/20	埴輪10、須恵器3(甕2・杯1)	須恵器杯登録164と接合 円筒埴輪登録165と接合	図8(須恵器杯) 図15(円筒埴輪)
173	15号墳	仮4号墳	平成7年2/22	埴輪5、土師器1		
30	16号墳	仮7号墳	平成7年2/21	須恵器2(器台1、壺?1)、須恵器or陶器1、土師器1		図91(須恵器器台)
31	16号墳	仮7号墳、羨道	平成7年2/21	須恵器1、土師器4		図91(須恵器器台)
32	16号墳	仮7号墳	平成7年2/24	須恵器1、須恵器or陶器1、木片1、鉄製品7(刀1、鏃or刀子5、金銅装金具1)		図86(金銅装金具)
33	16号墳	仮7号墳、石室	平成7年2/27	(須恵器脚部3)	登録30と同一袋	図91(須恵器器台)
34	16号墳	仮7号墳、羨	平成7年2/28	結晶片岩のみ		
35	16号墳	仮7号墳	平成7年3/1	土師器9、須恵器1(杯)		
36	16号墳	仮7号墳	平成7年3/2	埴輪1、須恵器1、土師器9		図90(円筒埴輪)
37	16号墳	仮7号墳	平成7年3/7	土師器or弥生土器3		
38	16号墳	仮7号墳	平成7年3/8	土師器2		
39	16号墳	仮7号墳	平成7年3/13	須恵器1(壺口縁)		
40	16号墳	仮7号墳	平成7年3/14	土師器13、須恵器1(壺口縁)		
41	16号墳	仮7号墳	平成7年2/20?	金銅装鞘口金具1、鉄製鉾金具1		図85(鞘口金具)・図80(鉾金具)
42	16号墳	仮7号墳		土師器1、須恵器or陶器1		
124	16号墳	仮7号墳	平成7年2/22	金銅装辻金具1		図78(辻金具)
125	16号墳	仮7号墳	平成7年2/21	金銅装辻金具1		図84(辻金具)
126	16号墳	仮7号墳	平成7年2/21	鉄製鉾金具1		図82(鉾金具)
128	16号墳	仮7号墳		鉄製鉾金具1		図81(鉾金具)
132	16号墳	仮7号墳	平成7年2/22	鉄製鉾金具2		図83・図79(鉾金具)
133	16号墳	仮7号墳		刀子1、鉄鏃1		図87(刀子)・図88(鉄鏃)
135	16号墳	仮7号墳	平成7年2/20	須恵器器台1、裝飾付須恵器の裝飾物1、鉄片1、土師器1、陶器1		図92(裝飾付須恵器器物) 図91(須恵器器台)
136	16号墳	仮7号墳	平成7年2/20	土師器1、陶器1、結晶片岩		
137	16号墳	仮7号墳	平成7年2/21	鉄鏃2~4 須恵器片1		
138	16号墳	仮7号墳		鉄釘2、鉄鏃7、刀子1、鉄板2		図89(鉄釘)
140	16号墳	仮7号墳	平成7年2/27	鉄釘か1		
141	16号墳	仮7号墳	平成7年2/27	現代の鉄製缶		
142	16号墳	仮7号墳	平成7年2/21	現代の鉄製缶		
153	16号墳	仮7号墳、玄室		鉄片1、土師器1		
49	16号墳?	仮7号墳		須恵器1(瓶類・カキ目)		
54	17号墳	取り上げ11		鉄鏃1		図56(鉄鏃)
55	17号墳	取り上げ12		鉄鏃か1	刃部欠損	
56	17号墳	取り上げ13		鉄鏃1		図61(鉄鏃)
57	17号墳	取り上げ14		鉄鏃1		図48(鉄鏃)
58	17号墳	取り上げ15		鉄鏃1		図49(鉄鏃)
59	17号墳	取り上げ16		鉄鏃1	刃部欠損	
60	17号墳	取り上げ17		鉄鏃か1	刃部欠損	
61	17号墳	取り上げ18		鉄鏃1	刃部欠損	
62	17号墳	取り上げ19		鉄鏃1		
63	17号墳	取り上げ20		鉄鏃1+(1)		図54(鉄鏃)
64	17号墳	取り上げ21		鉄鏃1		図50(鉄鏃)
65	17号墳	取り上げ22		鉄鏃1		図63(鉄鏃)
66	17号墳	取り上げ23		鉄鏃1		図60(鉄鏃)
67	17号墳	取り上げ24		鉄鏃2	2本付着	
68	17号墳	取り上げ25		鉄鏃か1	刃部欠損	
69	17号墳	取り上げ26		鉄鏃1		図53(鉄鏃)
70	17号墳	取り上げ27		鉄鏃1		図59(鉄鏃)

大谷山古墳群出土遺物台帳

71	17号墳	取り上げ28		鉄鏃1	刃部のみ	
72	17号墳	取り上げ29		鉄鏃か1	刃部欠損	
73	17号墳	取り上げ30		鉄鏃か1	刃部あり	
74	17号墳	取り上げ31		鉄鏃1	刃部欠損	
75	17号墳	取り上げ32		鉄鏃1	刃部欠損	
76	17号墳	取り上げ33		鉄鏃1	刃部欠損	
77	17号墳	取り上げ34		鉄鏃か1	刃・基部欠損	
78	17号墳	取り上げ35		鉄鏃1	刃部欠損	
79	17号墳	取り上げ36		鉄鏃1		図55(鉄鏃)
80	17号墳	取り上げ37		鉄鏃1	刃部	
81	17号墳	取り上げ38		鉄鏃1		
82	17号墳	取り上げ39		鉄鏃2か	刃部欠損	
83	17号墳	取り上げ40		鉄鏃1	刃部欠損	
84	17号墳	取り上げ41		鉄鏃1	刃部欠損	
85	17号墳	取り上げ42		鉄鏃1		図62(鉄鏃)
86	17号墳	取り上げ43		鉄鏃1	基部欠損	
87	17号墳	取り上げ44		鉄鏃1		
88	17号墳	取り上げ45		鉄鏃2	2本付着	
89	17号墳	取り上げ46		鉄鏃1	刃部欠損	
90	17号墳	取り上げ47		鉄鏃1		
91	17号墳	取り上げ48		鉄鏃1	刃部欠損	
92	17号墳	取り上げ49		鉄鏃1		図52(鉄鏃)
93	17号墳	取り上げ50		鉄鏃1		図58(鉄鏃)
94	17号墳	取り上げ51		鉄鏃1		図51(鉄鏃)
95	17号墳	ラベルなし		鉄鏃か1	刃部・基部欠損	
96	17号墳	仮6号墳	平成7年2/20	鉄鏃1	登録98と同一か	図73(鉄鏃)
97	17号墳	6号墳W、取り上げ8	平成7年3/14	鉄鏃か1		
98	17号墳	6号墳E	平成7年2/24	鉄鏃1	登録96と同一か	図73(鉄鏃)
99	17号墳	仮6号墳W、取り上げ7	平成7年3/14	鉄鏃? or やりがんな1		図57(鉄鏃か)
100	17号墳	仮6号墳W	平成7年3/1	鉄鏃1		図76(鉄鏃)
101	17号墳	仮6号墳W、取り上げ5	平成7年3/14	鉄鏃か1	刃部欠損	
102	17号墳	ラベルなし		鉄鏃1		
103	17号墳	ラベルなし		鉄鏃か1	刃部欠損	
104	17号墳	ラベルなし		鉄鏃1		
105	17号墳	ラベルなし		鉄鏃か1	刃部欠損	
106	17号墳	ラベルなし		鉄鏃か1	刃部欠損	
107	17号墳	ラベルなし		鉄鏃か1	刃部・基部欠損	
108	17号墳	ラベルなし		鉄鏃? 1	刃部・基部欠損	
109	17号墳	ラベルなし		鉄鏃? 1	刃部・基部欠損	
110	17号墳	ラベルなし		鉄鏃1	基部欠損	
111	17号墳	ラベルなし		鉄鏃1		
112	17号墳	ラベルなし		鉄鏃2	2本付着	
113	17号墳	ラベルなし		鉄鏃か1	刃部欠損	
114	17号墳	ラベルなし		鉄鏃2以上		
115	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/24	鉄鏃4、土師器片3	西側石室?	
116	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/28	鉄鏃4以上、鉄鏃1		図64(鉄鏃)・図71(鉄鏃)
117	17号墳	仮6号墳W 図あり(石室奥壁東隅か)	平成7年3/1	鉄鏃1~2		図57(鉄鏃か)
118	17号墳	仮6号墳W、N部、副	平成7年2/24	鉄鏃2以上		
119	17号墳	仮6号墳W 図あり(石室奥壁?)	平成7年3/1	鉄鏃4以上、土師器1		
120	17号墳	仮6号墳W、取り上げ1	平成7年3/14	短剣1・鉄鏃1		図43(鉄短剣)・図74(鉄鏃)
121	17号墳	仮6号墳W	平成7年3/1	鉄小刀1		図44(鉄小刀)
122	17号墳	仮6号墳W、取り上げ9	平成7年3/14	U字形鋤先1		図47(鋤先)
129	17号墳	仮6号墳W、9~1石間	平成7年3/2	鉄鏃1		図77(鉄鏃)
134	17号墳	仮6号墳W、N部	平成7年2/28	鉄鏃1、鉄鏃4以上		図75(鉄鏃)
143	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/28	鉄鏃5以上、土師器5		
154	17号墳	仮6号墳	平成7年2/20	形象1(家形埴輪)		図12(家形埴輪)
155	17号墳	仮6号墳	平成7年3/3	埴輪2		
156	17号墳	仮6号墳	平成7年3/6	埴輪or土師器3(家形埴輪?1含む)		
157	17号墳	仮6号墳	平成7年2/23	埴輪1、土師器3		
158	17号墳	仮6号墳	平成7年2/21	埴輪1(家形埴輪?1含む)、土師器1		
159	17号墳	仮6号墳		埴輪or土師器7		
160	17号墳	仮6号墳東		埴輪6(家形埴輪2)、須恵器1(甕)	東側石室?	図70(円筒埴輪)
161	17号墳	仮6号墳W	平成7年3/1	埴輪2(家形埴輪1)		図69(円筒埴輪)
162	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/28	埴輪10(形象含む、家形埴輪7)		図66・図68(家形埴輪)
163	17号墳	仮6号墳W	平成7年2/24	埴輪12(形象含む、家形埴輪6)	登録154と同一個体あり	図65・図67(家形埴輪)
181	17号墳?	ラベルなし		鉄剣1	保存処理済み、基部欠損	図45(鉄剣)
182	17号墳?	ラベルなし		鉄剣1	保存処理済み、切先欠損	図73(鉄剣)
183	17号墳?	ラベルなし		鉄小刀1	保存処理済み、完形	図41(鉄小刀)
184	17号墳?	ラベルなし		鉄鏃1	保存処理済み	図72(鉄鏃)
185	17号墳?	ラベルなし		鉄鏃1	保存処理済み、完形	図42(鉄鏃)
22	38号墳	仮5号墳	平成7年2/20	土師器7、須恵器1(回転系切底部)		図98(須恵器底部)
23	38号墳	仮5号墳	平成7年2/23	土師器4		
24	38号墳	仮5号墳	平成7年2/27	銅銭(富壽神寶)3、木の種4	富壽神寶初鑄818年	
25	38号墳	仮5号墳	平成7年2/27	土師器8、埴輪4		
26	38号墳	仮5号墳	平成7年3/1	土師器33、鉄片1		
27	38号墳	仮5号墳	平成7年3/2	土師器4(弥生土器?含む)		
28	38号墳	仮5号墳	平成7年3/6	土師器5(弥生土器?1、埴輪?2含む)		
29	38号墳	仮5号墳		埴輪7、須恵器1(杯?)		
123	38号墳	仮5号墳	平成7年2/27	鉄釘3、鉄板1、鉄鏃2		図93・図94(鉄釘)
139	38号墳	仮5号墳	平成7年2/23	鉄釘1~2、鉄鏃1		
178	38号墳	玄室前道?		帯金具1	実績報告実測図	図95(帯金具)
179	38号墳	玄室しきみ石上?		金環1	実績報告実測図	図96(金輪)
43	38号墳?	仮5号墳?	平成7年3/7	ガラス製小玉1		図97(ガラス製小玉)
131		ラベルなし		刀子1		図99(刀子)
174		ラベルなし		埴輪21、須恵器1(甕)	14・15・17号墳のどれか	
175		ラベルなし		埴輪23、須恵器2(甕)、土師器2	14・15・17号墳のどれか	
176		羨道第1層	平成7年3/9	埴輪1	14・15・17号墳のどれか	

和歌山県埋蔵文化財調査年報

－平成14年度－

発行日 平成16年3月31日

編集・発行 和歌山県教育委員会
和歌山市小松原通1丁目1

印刷 (株)第一製版印刷
和歌山市西浜1660-421